

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票
令和7年7月18日（第2回）

沼津市地域自治課

目次

市民福祉部 市民課	1
市民福祉部 国民健康保険課	2
市民福祉部 健康づくり課	3
市民福祉部 福祉企画課	8
市民福祉部 社会福祉課	10
市民福祉部 こども未来創造課・こども家庭センター ...	16
市民福祉部 長寿福祉課	24
市民福祉部 介護保険課	27
市民福祉部 障がい福祉課	28
産業振興部 商工振興課	30
産業振興部 農林農地課	33
産業振興部 水産海浜課	36
産業振興部 ウィズスポーツ課	38
都市計画部 まちづくり政策課	39
都市計画部 緑地公園課	41

推進調査票 記入例 （印刷時に文字切れが無いか、必ず確認してください）

推進調査票記入手順

- ①前年度に提出した調査票を最新化してください。（過去の事前質問や委員会で聞かれた内容は必ず調査票に反映してください）
 データ保管場所：公開ライブプラリ>政策推進部>地域自治課>協働推進係>男女共同参画>R6推進調査票
 ②【必須事項】令和6年度実施状況等について、黄色塗 □ の部分を記入してください。
 ③【任意事項】その他の部分で変更が生じる場合には赤字修正としてください。
 （1 事業の目的、2 特に男女共同参画（女性活躍・DV防止）の視点で取り組むところ、4 計画期間内の取組内容のうち令和7年度の実施予定内容、5 連携が必要な機関、6 新型コロナ以降の課題において、過去の委員会の意見等を反映するなどして内容に変更が生ずる場合）
 ※ （青色塗 □ 部分）基本理念、基本的施策、施策の方針及び施策の内容は、計画書記載事項のため、変更しないでください。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 协働推進係
担当者(電話)	蒲生 2282

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容
		青塗 □ 部分は、計画書に記載されている内容のため変更しないでください					
							止を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	A	A	A	A	

令和6年度の実績に対する評価を記入

取組状況（男女共同参画の視点から）

- A : 計画どおり取り組みができた
- B : 概ね計画どおり取り組みができた
- C : 取り組みが不十分であった
- D : 取り組みができなかった

実績（男女共同参画の視点から）

- A : 想定以上の実績
- B : 想定どおりの実績
- C : 想定以下の実績

1 事業の目的

男女共同参画を進めるための啓発を推進する中で、公共性の高いメディアで表される表現について点検指導し、性別による固定的な役割分担意識等を解消していくことで男女共同参画社会の実現を目指す。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治課を経由して地区センター等に配架する「市が発行する文書」 <p>【チェック項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女いずれかに偏った表現になっていないか ・性別によってイメージを固定化した表現になっていないか ・性別に関わらず対等な関係で描いているか ・性別で異なる表現を使っていないか ・女性をむやみに「アイキヤッチャー」にしていないか <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は2件、市が主催する「体操教室」のチラシの写真に写る複数の人物が「女性のみ」だったため、来年度から男性が参加している写真も掲載してもらうよう指導を行った。(当該教室は性別に関わらず誰もが参加できるイベント) 	
	<p>令和6年度の男女共同参画に関する取組実績を記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域自治課にて確認できる範囲にて確認を行った。 ・今後も必要に応じて国や県のガイドラインを周知、啓発する。 <p>令和6年度の取組に対する評価・課題等を記入</p>	
評価／改善点		

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
6年度	活動指標 各課への周知・指導	モニタリング指標	2	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発に関するチラシの窓口配架 ・男女共同参画週間のPR ・県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標 修正した表現の数	モニタリング指標	なし	○回/年度	

令和6年度の活動指標・成果指標の実数値及び実施済内容を記入

5 連携が必要な機関

1 広報課	府内
2 関係各課	府内
3	
4	

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	市民課
担当者(電話)	杉山(内2127)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
I	II	1	3	多様な性のあり方の尊重			市民課窓口において、性的マイノリティへの理解を深めるため課内研修を行うとともに、性別の取り扱いなどについて配慮ある対応を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	B	B	B	B		5
実績	B	B	B	B		10

1 事業の目的

市民課業務(住民異動・戸籍届出など)において、訪れるあらゆる来客者に対し個人を尊重した配慮ある対応を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

職員研修を通して性的マイノリティに対する理解を深め、接客時の対応や関連書類の性別表記への配慮を行う。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	R6.6.20 所長会議及び係長会議において、「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時における対応等について研修を行った。
評価／改善点	すべての来庁者に対し、思いやりの気持ちを持って対応するよう改めて確認を行った。 職員の異動もあることから、ハンドブックを参考に定期的に周知を図る。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度	1	1回/年度	「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時の対応等について研修を行った。
	成果指標					
4年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度	1	1回/年度	「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時の対応等について研修を行った。
	成果指標					
5年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度	1	1回/年度	「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時の対応等について研修を行う。
	成果指標					
6年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度	1	1回/年度	「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時の対応等について研修を行う。
	成果指標					
7年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度		1回/年度	「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、接客時の対応等について研修を行う。
	成果指標					

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	特段の影響はないと考える。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	国民健康保険課
担当者(電話)	宗藤(内線2111)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	1	3	多様な性のあり方の尊重					国民健康保険被保険者証等の氏名、性別欄の表記について、申し出への対応を整理するとともに、対応マニュアルの作成、所属職員への研修を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	A	A	A	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

性的マイノリティに対する国民健康保険被保険者証等の氏名、性別の表記方法に配慮し、暮らしやすい環境の整備を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

課員の性的マイノリティに対する理解を深め、当事者が国民健康保険被保険者証等の利用時の心理的負担の軽減を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の通知を踏まえ、性的マイノリティの方からの申し出があった際の対応について研修を実施した。 令和6年度の申請数 0件 マニュアルをより使い易いものとするため見直しを行った。 オンラインシステムによる被保険者証の作成方法を確認した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、厚生労働省からの通知を踏まえ、性的マイノリティの方からの申し出に対応する。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	課内研修の実施	1回／年度	1回	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 申し出の際の対応方法の整理と対応研修の実施 システムによる被保険者証の作成方法の確認
	成果指標					
4年度	活動指標	課内研修の実施	1回／年度	1回	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 申し出の際の対応方法の整理と対応研修の実施 システムによる被保険者証の作成方法の確認
	成果指標					
5年度	活動指標	課内研修の実施	1回／年度	1回	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 申し出の際の対応方法の整理と対応研修の実施 マニュアルの見直し
	成果指標					
6年度	活動指標	課内研修の実施	1回／年度	1回	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 所属職員への対応研修の実施
	成果指標					
7年度	活動指標	課内研修の実施	1回／年度		1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 所属職員への対応研修の実施
	成果指標					

5 連携が必要な機関

1	市民課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	健康づくり課 母子保健係
担当者(電話)	笹本(5353)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容		
I II	1	3	多様な性のあり方の尊重				若年世代を主な対象として、男女が身体的性差を理解し、互いの人権を尊重し合うことや性の多様性を認め合うこと等により、望まない妊娠を防ぎ、自らのライフプランを考えるための知識の普及・啓発を図る。	

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	4	5		

1 事業の目的

妊娠・出産には望ましい年齢(適齢期)があることから、若年世代を主な対象として、妊娠・出産に対する正しい知識の普及・啓発を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

妊娠・出産に関して、男女では異なる身体的特徴があり、妊娠・出産には適正な年齢があることを、リプロダクティブ・ヘルスの視点を踏まえて啓発する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	望まない妊娠を防ぎ、自身のライフプランを考えるための教育を実施した。併せて、男女が身体的性差を理解し合い、お互いの人権を尊重し合うことや、性的マイナリティへの配慮など、性の多様性を認め合うことについて学びの場を設けた。 ※高校生を対象とした「ライフプラン講座」の開催:4校 4回 計1,781人(アンケート回答者1,781人) <理解度について> ・妊娠が可能な年齢がある事について理解できた:1,744人 (97.9%) ・「妊娠する・させる」可能性があることを理解できた:1,734人 (97.4%) ・望まない妊娠を防ぐ方法が理解できた:1,738人 (97.6%) 平均理解度:97.6%(下記実績値は、R5年度から上記3項目の平均値とする)
	高校生の若い世代に対し、講座を通じて妊娠・出産に関する情報を提供し、これから のライフプランを考えるための正しい知識の啓発を行うことができた。また、対面方式とオンライン方式の両方を実施することで、受講者の増加につながっている。なお、本講座の理解度は例年高い水準を維持しており、今年度においても、期待する効果が得られたものと考える。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 講座開催回数	4回	3回	4回／年度	・高校生を対象とした「ライフプラン講座」を市内2校(3回)で開催した
	成果指標 講座が目的とするところ(妊娠適齢期等)の理解度	100%	99.7%	アンケートから算出	
4年度	活動指標 講座開催回数	4回	4回	4回／年度	・高校生を対象とした「ライフプラン講座」を市内3校(4回)で開催した
	成果指標 講座が目的とするところ(妊娠適齢期等)の理解度	100%	98.7%	アンケートから算出	
5年度	活動指標 講座開催回数	4回	4回	4回／年度	・高校生を対象とした「ライフプラン講座」を市内4校(4回)で開催した。
	成果指標 講座が目的とするところ(妊娠適齢期等)の理解度	100%	98.6%	アンケートから算出	
6年度	活動指標 講座開催回数	4回	4回	4回／年度	・高校生を対象とした「ライフプラン講座」を市内4校(4回)で開催した。
	成果指標 講座が目的とするところ(妊娠適齢期等)の理解度	100%	97.6%	アンケートから算出	
7年度	活動指標 講座開催回数	4回		4回／年度	〃
	成果指標 講座が目的とするところ(妊娠適齢期等)の理解度	100%		アンケートから算出	

5 連携が必要な機関

6 新型コロナ以降の課題

1	市内高等学校等	NPO等
2	学校教育課	庁内
3		
4		

懸念事項	有	理由	学年単位での集団指導形式をとっているため、感染状況によつては必要な対策を講じる必要がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	健康づくり課 検診・予防係
担当者(電話)	植松(5354)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	7	生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりへの支援					身体的差異などの性差に配慮し、健康管理のための健(検)診事業および相談事業を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

市民の健康管理のための健(検)診事業を行う。また、健康に関する情報提供や相談体制の充実を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女一人ひとりが自分の健康を保持し、生涯を健康で暮らせるためのニーズにあった健(検)診および相談事業に取り組んでいく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健(検)診事業の実施 6/10～10/31の期間に健康診査を実施した。(各種がん等の検診、特定健康診査) 【受診率】 各種がん等の検診: R7.3.31時点(年度末集計) <table border="1"> <tr><td>子宮頸がん検診</td><td>13.2%</td><td>胃がん検診</td><td>6.5%</td><td>肝炎ウイルス検診</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>乳がん検診</td><td>9.0%</td><td>肺がん検診</td><td>17.1%</td><td>結核検診</td><td>53.4%</td></tr> <tr><td>前立腺がん検診</td><td>17.6%</td><td>大腸がん検診</td><td>13.3%</td><td>歯周病検診</td><td>0.64%</td></tr> </table> 特定健診: 受診率はR7.6月以降に確定予定 ・妊娠中の健康管理に配慮し、妊婦歯科健康診査受診券(フッ化物塗布券を含む)を母子健康手帳と同時に交付した。 受診券の交付数: 905件 受診者数: 274人 受診率: 30.3% ・女性の健康相談 26回 実人員 909人 SNSを活用した情報発信 9回 ・民間企業等との連携による健(検)診の受診啓発 ポスター掲示、チラシ配布、インセンティブの提供 	子宮頸がん検診	13.2%	胃がん検診	6.5%	肝炎ウイルス検診	1.9%	乳がん検診	9.0%	肺がん検診	17.1%	結核検診	53.4%	前立腺がん検診	17.6%	大腸がん検診	13.3%	歯周病検診	0.64%
子宮頸がん検診	13.2%	胃がん検診	6.5%	肝炎ウイルス検診	1.9%														
乳がん検診	9.0%	肺がん検診	17.1%	結核検診	53.4%														
前立腺がん検診	17.6%	大腸がん検診	13.3%	歯周病検診	0.64%														
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康管理のための健(検)診事業について概ね計画どおり実施できた。また、幼稚健診会場で実施している健康相談では保護者からのがん検診に関する相談などに対応した。 ・今後も健康の保持増進のため、健(検)診や健康に関する情報についてホームページや広報、SNSを活用して情報発信し、相談しやすい環境づくりに努める。 																			

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 健(検)診受診率	特定健診60% 各種がん検診増加	特定健診 36.3%	受診者数/対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん等の検診実施(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、結核検診) ・特定健康診査の実施
	成果指標 メタボリックシンドローム該当者の減少	減少⇒ 17.0%	20.0%	メタボリックシンドローム該当者数/受診者数	
4年度	活動指標 健(検)診受診率	特定健診60% 各種がん検診増加	特定健診 36.3%	受診者数/対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん等の検診実施(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、結核検診) ・特定健康診査の実施
	成果指標 メタボリックシンドローム該当者の減少	減少⇒ 17.0%	20.5%	メタボリックシンドローム該当者数/受診者数	
5年度	活動指標 健(検)診受診率	特定健診60% 各種がん検診増加	特定健診 37.1%	受診者数/対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん等の検診実施(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、結核検診) ・特定健康診査の実施
	成果指標 メタボリックシンドローム該当者の減少	減少⇒ 17.0%	20.7%	メタボリックシンドローム該当者数/受診者数	
6年度	活動指標 健(検)診受診率	特定健診60% 各種がん検診増加	R7.6月以降に確定	受診者数/対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん等の検診実施(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、結核検診) ・特定健康診査の実施
	成果指標 メタボリックシンドローム該当者の減少	減少⇒ 17.0%	R7.6月以降に確定	メタボリックシンドローム該当者数/受診者数	
7年度	活動指標 健(検)診受診率	特定健診60% 各種がん検診増加		受診者数/対象者数	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん等の検診実施(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、結核検診) ・特定健康診査の実施
	成果指標 メタボリックシンドローム該当者の減少	減少⇒ 17.0%		メタボリックシンドローム該当者数/受診者数	

5 連携が必要な機関

1	国民健康保険課	府内
2	沼津医師会	事業所
3	沼津市歯科医師会	事業所
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナウイルス感染拡大時の事業の実施方法

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	健康づくり課 成人保健係
担当者(電話)	白岩(5355)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	7	15	職場での男女共同参画意識の醸成と男女平等の促進					健康経営の視点を取り入れ、従業員の健康づくりに取り組む市内事業所等に対し、「こころと身体の健康」の情報提供や、健康相談等を実施する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	8		

1 事業の目的

働き世代を対象として、生活習慣病予防のための知識の普及と主体的かつ継続的な生活習慣改善の取り組みを支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女一人ひとりが自分の健康を保持し、生涯健康で暮らすためのニーズにあった健康づくりの支援に取り組んでいく。また、職場等でのストレスなどによるこころの健康づくりを支援する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営支援事業 働き盛り世代の健康促進を図るために、健康度測定や健康に関する講話を実施した。 健康度測定を行った事業所のデータを集計し、各事業所ごとの健康課題や特徴を示した報告書を作成した。 出張健康度測定、出張健康講座(20事業所 32回 実人員875人) ・こころのミニミニ講座 こころの健康に関する正しい知識の普及と身近な相談機関の紹介を行った。 (19回 実人員404人) ・うつ自殺予防普及啓発 各種保健事業においてこころの健康や自殺予防について正しい知識の提供と相談機関の周知を図った。 (こころの悩みに関する相談機関一覧冊子、啓発グッズ配布数 5,965個)
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営支援事業利用事業所は増加傾向にあり、多くの経営者及び従業員に対し、自身の健康を見直すきっかけとなる講座や健康度測定を実施した。より多くの事業所に参加してもらえるように、産業医の研修会での事業の説明を行い、新規事業所の参加に結びつくような働きかけを行った。 ・講座の内容については、事前に事業所と打ち合わせを行い健康課題や取り組みたいテーマ等を聴取し、柔軟に対応している。引き続き、それぞれの事業所が求める個々の案件に対して柔軟かつ適切に対応していく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 出張健康相談や健康講座の利用事業所数	5事業所/年度	5事業所/年度	5事業所/年度	健康経営支援事業の実施 健康経営支援事業利用事業所の宣言取組への支援 「こころの悩みに関する相談機関一覧」の周知
	成果指標 健康づくり推進事業所宣言の取組率	100%	100%		
4年度	活動指標 出張健康相談や健康講座の利用事業所数	5事業所/年度	10事業所/年度	5事業所/年度	健康経営支援事業の実施 健康経営支援事業利用事業所の宣言取組への支援 「こころの悩みに関する相談一覧」の周知
	成果指標 健康づくり推進事業所宣言の取組率	100%	80%		
5年度	活動指標 出張健康相談や健康講座の利用事業所数	5事業所/年度	16事業所/年度	5事業所/年度	健康経営支援事業の実施 健康経営支援事業利用事業所の宣言取組への支援 「こころの悩みに関する相談機関一覧」の周知
	成果指標 健康づくり推進事業所宣言の取組率	100%	56.30%		
6年度	活動指標 出張健康相談や健康講座の利用事業所数	5事業所/年度	20事業所/年度	5事業所/年度	健康経営支援事業の実施 健康経営支援事業利用事業所の宣言取組への支援 「こころの悩みに関する相談機関一覧」の周知
	成果指標 健康づくり推進事業所宣言の取組率	100%	45%		
7年度	活動指標 出張健康相談や健康講座の利用事業所数	5事業所/年度		5事業所/年度	健康経営支援事業の実施 健康経営支援事業利用事業所の宣言取組への支援 「こころの悩みに関する相談機関一覧」の周知
	成果指標 健康づくり推進事業所宣言の取組率	100%			

5 連携が必要な機関

1	沼津商工会議所	事業所
2	商工振興課	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	健康講座の実施にあたり、感染状況によって必要な対策を講じる必要がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	健康づくり課 母子保健係
担当者(電話)	笹本(5353)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	1	3	多様な性のあり方の尊重					夫婦で協力しながら子育てができるよう、育児実習や妊婦体験等を通して男性の育児・家事への参画意識を高める。また、グループ討議等により夫婦(男女)の認識を共有し、親となる意識を養う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール

3 5

1 事業の目的

妊婦とその夫への、親となる意識の啓発と母性保護に対する知識の普及を図る。また、夫婦で協力しながら子育てができるように、教育や技術指導を行うことで、妊娠期から子育て期にわたる不安の解消や、育児の孤立化・虐待予防に努める。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

女性に負担が偏りがちな妊娠・出産・育児の過程において、男女が対等な家族の構成員として、互いに尊重・協力し合えるよう、男性も参加しやすい、実践的な事業を実施する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p><パパとママの教室：夫婦参加を原則として、年30回の講座を開催した></p> <p>①1回目：夫が中心となって、夫婦一緒に沐浴体験実習・赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の体験実習をすることで、母性保護や男性の育児参加の必要性を意識づけた。 年18回開催し、560人が参加した。(うち276組552人は夫婦で参加)</p> <p>②2回目：地域自治課協力のもと、男性の育児体験談や男女共同参画に関する講話のDVDを放映した。併せて、月ごとに異なるテーマの講座(歯科医師・運動指導士・栄養士による講座)を実施した。 「夫婦で支え合いながら子育てをする心の準備」を目的に、妊娠・育児に対する不安や産前・産後の夫婦協力などについて意見を出し合うグループワークを実施した。他の夫婦の意見を聞くことで、不安を共有し合う場を提供することができた。 また、夫に妊婦体験実習へ参加してもらうことで、妊婦の気持ちや身体的負担への理解を促した。 年12回開催し、242人が参加した。(うち121組242人は夫婦で参加)</p>
評価／改善点	<p>・昨年度と比べ講座の開催回数を減らした一方で、講座の内容を見直すとともに、1回当たりの受け入れ人数を増加させた。その結果、延べ参加者数は増加し、より多くの夫婦に講座を受講してもらうことができた。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 講座の開催回数	18回	16回	18回／年度	・パパとママの教室(1回目):年9回開催 パパの沐浴体験と男性の育児体験の講話等 ・パパとママの教室(2回目):年3回開催 パパの妊婦体験とグループワーク等 ・パパとママの教室(3回目):年4回開催 赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の体験実習等
	成果指標 パパとママの教室における夫・パートナーの参加率	100%	95.9%	夫・パートナー参加数/全参加者数	
4年度	活動指標 講座の開催回数	18回	24回	18回／年度	・パパとママの教室(1回目):年12回開催 パパの沐浴体験等 ・パパとママの教室(2回目):年6回開催 パパの妊婦体験とグループワーク等 ・パパとママの教室(3回目):年6回開催 赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の体験実習等
	成果指標 パパとママの教室における夫・パートナーの参加率	100%	97.7%	夫・パートナー参加数/全参加者数	
5年度	活動指標 講座の開催回数	18回	36回	18回／年度	・パパとママの教室(1回目):年12回開催 パパの沐浴体験等 ・パパとママの教室(2回目):年12回開催 赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の体験実習等 ・パパとママの教室(3回目):年12回開催 パパの妊婦体験とグループワーク等
	成果指標 パパとママの教室における夫・パートナーの参加率	100%	97.8%	夫・パートナー参加数/全参加者数	
6年度	活動指標 講座の開催回数	18回	30回	18回／年度	・パパとママの教室(1回目):年18回開催 浴室体験、赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の体験実習等 ・パパとママの教室(2回目):年12回開催 月毎異なる講座(歯科医師・運動指導士・栄養士) パパの妊婦体験とグループワーク等
	成果指標 パパとママの教室における夫・パートナーの参加率	100%	98.5%	夫・パートナー参加数/全参加者数	
7年度	活動指標 講座の開催回数	18回		18回／年度	//
	成果指標 パパとママの教室における夫・パートナーの参加率	100%		夫・パートナー参加数/全参加者数	

5 連携が必要な機関

1	地域自治課	府内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	妊婦を対象としていることから、感染状況によっては必要な対策を講じる必要がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	健康づくり課 母子保健係
担当者(電話)	笹本(5353)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
IV V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現				男性も参加しやすい食育講座や調理実習を開催する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

「沼津市食育推進計画」に基づき、市民ひとり一人が生涯にわたって、望ましい食生活を身につけ、健康な心と体を保ち、豊かな人間性を育むことができるよう、正しい知識の普及・啓発を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

家事シェア応援の視点から、男性の積極的な家事(食事作り)への参加を促す学習機会を提供し、男性の家庭参画意識を高める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・パパとママの教室(2回目 栄養)を開催し、パパ(パートナー)による離乳食クッキング体験を通じて、男性が家事や育児に主体的に参加する必要性を意識づけた。 年4回実施し、参加者は82人(夫婦41組)であった。 ・親子のクッキング教室(パパとキッズのわくわくクッキング)を開催し、男性が積極的に家事(食事作り)に参加し、家庭での望ましい食生活について親子で学習する機会を設けた。 年1回実施し、参加者は12人(親子6組)であった。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・「パパとママの教室(2回目 栄養)」では、離乳食の調理体験に加え、健康を維持するための食生活の基本や妊産婦の食事について学習する機会を提供した。夫婦での参加とすることで、家庭内で食事に関する知識を共有し、男性が積極的に食事の準備に関与するための情報提供を行った。 ・「パパとキッズのわくわくクッキング」では、募集時に不慣れな人でも参加できる教室である旨を明記し、これまで食事作りに関わらなかつた人が積極的に家事に参加するための学習機会を設けることができた。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 講座の開催回数	3回	2回	3回／年度	・パパとママの教室(Plus1クラス):年2回実施 パパ(パートナー)の離乳食クッキング
	成果指標				・パパとキッズのわくわくクッキング:コロナのため中止 親(パパ)と子での調理実習
4年度	活動指標 講座の開催回数	3回	5回	3回／年度	・パパとママの教室(Plus1クラス):年4回実施 パパ(パートナー)の離乳食クッキング
	成果指標				・パパとキッズのわくわくクッキング:1回実施 親(パパ)と子での調理実習
5年度	活動指標 講座の開催回数	3回	5回	3回／年度	・パパとママの教室(3回目 離乳食を作つてみよう):年4回実施 パパ(パートナー)の離乳食クッキング
	成果指標				・パパとキッズのわくわくクッキング:1回実施 親(パパ)と子での調理実習
6年度	活動指標 講座の開催回数	3回	5回	3回／年度	・パパとママの教室(2回目 栄養):年4回実施 パパ(パートナー)の離乳食クッキング
	成果指標				・パパとキッズのわくわくクッキング:1回実施 父親と子での調理実習
7年度	活動指標 講座の開催回数	3回		3回／年度	"
	成果指標				

5 連携が必要な機関

1	農林農地課	府内
2	水産海浜課	府内
3	長寿福祉課	府内
4	子育て支援課	府内

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大の状況によっては、調理や試食を伴う講座の実施は、実施が困難となる。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	福祉企画課
担当者(電話)	山口(3166)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	9	22	NPO・ボランティア団体等の情報発信及び活動支援					沼津市社会福祉協議会が実施する地域福祉ワークショップやボランティアの育成等に対する支援を通じ、地区社会福祉協議会や地域住民、事業者等、地域福祉の推進に向けた多様な主体の参加や連携を推進する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	11	17	

1 事業の目的

市社会福祉協議会が実施する地域福祉ワークショップやボランティアの育成等に対する支援を通じ、地区社会福祉協議会や地域住民、事業者等、地域福祉の推進に向けた多様な主体の参加や連携を推進する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別や年齢にとらわれず参加できる環境作りを進める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	◎ボランティアの育成、研修を目的とした、各種ボランティアに関する講座を実施した。 ●ボランティア養成基礎講座（5講座）延べ183人 ①ボランティア育成講座 傾聴ボランティア養成講座 令和7年1月23日 13:30～15:30 サンウェルぬまづ 大会議室 やさしい精神保健福祉ボランティア養成講座 令和6年9月28日 10:00～12:00 サンウェルぬまづ 大会議室 こども学習支援ボランティア講座 令和6年6月8日 13:30～15:30 サンウェルぬまづ 多目的ホール 企業の社会貢献セミナー 令和7年2月22日 18:00～19:00 サンウェルぬまづ 大会議室 孤独・孤立をなくすために住民ができるることを考える講座 令和7年2月15日 10:00～12:00 サンウェルぬまづ 可動間仕切り会議室 ●次世代ボランティア育成講座（2講座）延べ51人 ①中高生ふれあい事業 令和6年8月5日 9:15～13:00 サンウェルぬまづ 大会議室、多目的ホール ②小学生福祉体験 令和6年10月5日 9:00～16:00 サンウェルぬまづ 大会議室他 ◎ボランティア活動のための拠点としてサンウェルぬまづにボランティア活動室を置き、ボランティア活動をサポートするセンター機能を整えた。 ◎地域福祉ワークショップを実施した。 令和7年3月8日 9:30～16:30 サンウェルぬまづ 多目的ホール
	評価／改善点 沼津市社会福祉協議会にて計画された取り組みが実施されている。 わかりやすく、ボランティアに親しみやすいよう当事者の講談など、内容も工夫し、前年度より参加者が増えた。今後も活動者を増やせるような取り組みを継続する。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 ちよいいてつボランティア登録者数(R2までの実績値110人)	88	135	ボランティア登録者数(年間)	ボランティア養成講座の実施、マッチング。モニタリング。
	成果指標 ちよいいてつ利用回数	750	1,310	延べ利用回数(年間)	
4年度	活動指標 ちよいいてつボランティア登録者数	88	183	ボランティア登録者数(年間)	ボランティア養成講座の実施、マッチング。モニタリング。
	成果指標 ちよいいてつ利用回数	750	2,725	延べ利用回数(年間)	
5年度	活動指標 ちよいいてつボランティア登録者数	88	206	ボランティア登録者数(年間)	ボランティア養成講座の実施、マッチング。モニタリング。
	成果指標 ちよいいてつ利用回数	750	3,279	延べ利用回数(年間)	
6年度	活動指標 ちよいいてつボランティア登録者数	88	242	ボランティア登録者数(年間)	ボランティア養成講座の実施、マッチング。モニタリング。
	成果指標 ちよいいてつ利用回数	750	3,320	延べ利用回数(年間)	
7年度	活動指標 ちよいいてつボランティア登録者数	88		ボランティア登録者数(年間)	ボランティア養成講座の実施、マッチング。モニタリング。
	成果指標 ちよいいてつ利用回数	750		延べ利用回数(年間)	

5 連携が必要な機関

1	沼津市社会福祉協議会	NPO等
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。
------	---	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	福祉企画課
担当者(電話)	井出(3166)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	9	24	男女のニーズを捉えた防災対策の推進			災害時要援護者避難支援計画の周知を図るとともに、平常時の避難訓練や声掛け・見守り等に活用するため、地域において避難行動要支援者名簿(同意者名簿)を作成する。				
男女共同計画評価		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール				
取組状況		B	B	B	B		5	10	11	13	
実績		B	B	B	B						

1 事業の目的	2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ
災害時に要援護者の避難支援を行うため、地域における支援体制の整備に取り組む。	個々の状況や地域における特性に応じた支援体制の整備を進める。
3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点	<p>取組状況及び実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全件名簿(災害対策基本法に規定される名簿、市所有の該当者データに自治会作成の同意者名簿情報を加えて作成) 登録者数 8,199名(男性 3,460名 女性 4,739名) ・同意者名簿(自治会が作成する、個人情報使用の同意をした方の名簿) 登録者数 2,080名(男性 693名 女性 1,387名) ・同意登録率25.37% <p>評価／改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の作成を通じて計画の周知を図っている。 ・同意者名簿の作成は自治会へ依頼しているが、要介護や障がいなど個人情報について人に知られたくない人もいると考えられる。 ・地域で情報を共有する同意者名簿の登録率は横ばいであるため、登録率増加させる取り組みが求められる。

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 要支援者名簿(同意者名簿)の作成	1回/年度	1	1回/年度	避難行動要支援者名簿への登録促進及び災害時要援護者支援計画の周知 要支援者数 8,766人 同意者 2,488人 登録率 28.38%
	成果指標 要支援者名簿(同意者名簿) 登録者数	2,695	2,488	名簿登録者数	
4年度	活動指標 要支援者名簿(同意者名簿)の作成	1回/年度	1	1回/年度	避難行動要支援者名簿への登録促進及び災害時要援護者支援計画の周知 要支援者数 8,684人 同意者 2,574人 登録率 29.64%
	成果指標 要支援者名簿(同意者名簿) 登録者数	2,771	2,574	名簿登録者数	
5年度	活動指標 要支援者名簿(同意者名簿)の作成	1回/年度	1	1回/年度	避難行動要支援者名簿への登録促進及び災害時要援護者支援計画の周知 要支援者数 7,794人 同意者 2,162人 登録率 27.74%
	成果指標 要支援者名簿(同意者名簿) 登録者数	2,771	2,162	名簿登録者数	
6年度	活動指標 要支援者名簿(同意者名簿)の作成	1回/年度	1	1回/年度	避難行動要支援者名簿への登録促進及び災害時要援護者支援計画の周知 要支援者数 8,199人 同意者 2,080人 登録率 25.37%
	成果指標 要支援者名簿(同意者名簿) 登録者数	2,771	2,080	名簿登録者数	
7年度	活動指標	"	"	"	"
	成果指標	"	"	"	

5 連携が必要な機関	6 新型コロナ以降の課題
1 危機管理課	府内
2 沼津市福祉事務所各課	府内
3 各自治会	自治会
4 民生委員	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	2	5	セクハラ、マタハラ、DV等の女性への暴力防止に向けた啓発・防止対策の推進					セクハラ・マタハラ・DV等の女性への暴力防止に向けた啓発や防止関連情報を発信する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	5		

1 事業の目的

重大な人権侵害で、被害者へ深刻な影響を及ぼすDVやセクハラなどの問題を、個人的なものにとどまらせず社会的な問題としてとらえ、社会全体で防止できる意識づくりに取り組む。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

セクハラ・DV等が行われる背景には、昔ながらの男女についての考え方や格差(経済力など)が影響していることが多く、それらの考え方を変えていくことが重要である。そのためには正しい知識を学ぶ場や啓発の取り組みが必要。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 婦人相談の相談先カードを庁内や市内市民窓口事務所、女性トイレに配置するなど相談先情報を周知した。 幼児、小中学生を伴う被害者の一時保護において、教育委員会事務局やこども未来創造課、こども家庭センターと問題の共有を図った。 「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日～25日)に合わせて、市役所1階ロビーへのバーブルリボン等の掲示、SNSへの掲載などを行った。 生理の貧困対策で生理用品を配布する際、女性相談のリーフレットを同封し、制度を周知した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童対策地域協議会DV分科会において、関係機関・関係職員に対してDV研修会を行った。 今後も市のホームページ、SNS、広報に各種相談窓口を掲載し周知を図る。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 キャンペーンの開催、リーフレットの配布	随時	280	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査を行い、市民のDV、セクハラ、マタハラに対する認識等を調査した 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市役所ロビーへのバーブルリボン等の掲示、SNS等への掲載
	成果指標 相談窓口の認知度	50%	35.70%	市民意識調査における数値	
4年度	活動指標 "	随時	142	"	<ul style="list-style-type: none"> 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市役所ロビーへのバーブルリボン等の掲示、SNS等への掲載
	成果指標 "	52%	-	"	
5年度	活動指標 "	随時	55	"	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標 "	55%	-	"	
6年度	活動指標 "	随時	10	"	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標 "	58%	-	"	
7年度	活動指標 "	随時		"	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査を行い、市民のDV、セクハラ、マタハラに対する認識等を調査する 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市役所ロビーへのバーブルリボン等の掲示、SNS等への掲載
	成果指標 "	60%		"	

5 連携が必要な機関

1	こども家庭課	府内
2	地域自治課	府内
3	沼津市立病院	府内
4	沼津警察署	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
I	II	2	6	被害者への相談体制の充実と自立支援			DV被害者の早期発見・相談体制づくりと婦人相談員や相談員のスキル向上を図る。(性の多様性に起因するDV相談を含む)		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	5		

1 事業の目的

専門知識を有する女性相談員を雇用し、複雑多様化する相談に対応する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

相談に来た被害者個人を尊重し、傾聴・共感・受容の姿勢で相談を受ける。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談者やLGBTQなど性的な少数者がいつでも気軽に相談できるよう女性職員以外にもDV補助として男性職員が対応できる体制を検討・整備した。 相談内容によって、離婚や親権等については法テラス(無料相談)を紹介、市外転居を希望する場合は、転居先機関へ引継ぎ、生活保護や児童関係の福祉手当の手続き支援など、被害者に応じた支援を行った。 <p>◆R6年度相談実績 相談件数 448件(男22件 女426件) うち、DV関係の相談件数:135件(男:1件 女:134件) うち、LGBT相談件数:5件 相談実人数 121人(男:9人 女:112人)</p>
評価／改善点	相談者のニーズと能力を的確に把握し、自立を促進することを目標とし、関係機関へのつなぎや必要な給付が受けられるよう関係機関との連携、相談員等のスキルアップや情報収集が重要である。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 DV相談件数	モニタリング指標	274	目標値の設定になじまないため、定期的に相談件数の推移を見守っていく	・相談員のスキル向上と相談体制の充実を図った。 ・無料法律・人権相談、法テラスなどを紹介する。
	成果指標				
4年度	活動指標 "	"	270	"	"
	成果指標				
5年度	活動指標 "	"	163	"	"
	成果指標				
6年度	活動指標 "	"	135	"	"
	成果指標				
7年度	活動指標 "	"		"	・相談員のスキル向上と相談体制の充実を図る。 ・無料法律・人権相談、法テラスなどを紹介する。
	成果指標				

5 連携が必要な機関

1	市民相談センター	府内
2	法テラス	国・県
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
I	II	6	被害者への相談体制の充実と自立支援				DV被害者の保護と安全な避難を支援するとともに、関係機関との連携強化を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	5		

1 事業の目的

DV被害者と同伴者の心身の安全確保を優先し、安心した生活を守るために体制を強化する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

被害者の保護と安全な避難を支援するとともに、被害者情報の保護・管理を徹底する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>常駐相談員として2名(女性会計年度任用職員1名、女性職員1名)のほか、補助として生活保護係CWの中にDV対応補助者5名(女性職員1名、男性職員4名)を配置したほか、他のCWも適宜補助を行い一時保護などに対応した。</p> <p>◆R6年度 一時保護施設入所 7件</p>
評価／改善点	<p>相談者への適切な対応や支援を円滑に実施できるようにするために、県女性相談センター、東部児童相談所、沼津警察署、市関係課などの連携が不可欠であり、常に各機関の担当者の顔の見える関係を構築して、相談者の安全を確保しながら迅速な一時保護などを実施する必要がある。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 一時保護件数	モニタリング指標	2	目標値の設定になじまないため、定期的に相談件数の推移を見守っていく	<ul style="list-style-type: none"> 警察と情報を共有し、連携を強化した 一時保護の実施(保護命令に関する支援) 一時保護時の子供への配慮
	成果指標				
4年度	活動指標 "	"	3	"	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標				
5年度	活動指標 "	"	3	"	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標				
6年度	活動指標 "	"	7	"	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標				
7年度	活動指標 "	"		"	<ul style="list-style-type: none"> 警察と情報を共有し、連携を強化する 一時保護の実施(保護命令に関する支援) 一時保護時の子供への配慮
	成果指標				

5 連携が必要な機関

1	沼津警察署	国・県
2	市民課	庁内
3	県女性相談センター	国・県
4	東部児童相談所	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容		
I	II	2	6	被害者への相談体制の充実と自立支援			被害者の自立に向けた生活支援(含子どもの支援)と二次被害を起こさないよう支援体制を強化する。	

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	5		

1 事業の目的

DV被害者が新たな生活を始めるために、関係機関と連携を図り生活基盤を整える。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

課題解決のために市役所相談窓口だけでなく、女性相談センター・児童相談所・警察と共通認識を持つ。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市要保護児童対策地域協議会実務者会議(児童虐待分科会・DV分科会)に参画し、関係機関と連携を図りながら、個別ケースの状況把握と対応方針の協議を行った。 ・他課や他市女性相談員とも連携を取りつつ、被害者の支援を行った。
評価／改善点	要保護児童対策地域協議会DV分科会において、DV研修会を行い関係機関・関係職員に認識を深めてもらう機会を設けた。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 沼津市要保護児童対策地域協議会の出席	12回/年度	12	12回/年度	・沼津市要保護児童対策地域協議会の開催、出席(年12回) ・関係機関とのケース会議を随時開催した(随時)
	成果指標				
4年度	活動指標 "	"	12	"	"
	成果指標				
5年度	活動指標 "	"	12	"	"
	成果指標				
6年度	活動指標 "	"	12	"	"
	成果指標				
7年度	活動指標 "	"		"	・沼津市要保護児童対策地域協議会の開催、出席(年12回) ・関係機関とのケース会議を随時開催する(随時)
	成果指標				

5 連携が必要な機関

1	市民課	庁内
2	こども家庭課	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	2	6	被害者への相談体制の充実と自立支援					貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯にある子どもへの学習支援を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	4	5	10

1 事業の目的

生活困窮世帯(生活保護受給世帯も含む)を対象に、学習の場を提供し、学習支援を行い、その子どもの高等学校への進学を促進することにより、就職に結びつけ、子どもの自立促進を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

学習支援において、親の協力は不可欠であり、親への養育支援の中で、学習の重要性、親の協力の重要性についての理解を図ることで、家庭内における夫婦等の役割分担の必要性を意識させる。それにより、家庭における男女共同参画を促進させる。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	(事業の実施) 生活困窮世帯の中学生及びその中学生と弟妹の小学生、高校中退防止支援を必要とする高校生を対象に学習の場を提供する学習支援を行った。また、子どもの保護者に対して養育支援を行った。 ・年間利用者数 実人数 高3年4名、高2年4名、高1年5名、中3年11名、中2年6名、中1年3名、 小6年0名、小5年1名、合計34名 <※生保3名、困窮31名> ・進学希望者の中学3年9名全員高校進学 ・各平日週3回開催(土曜日を含む) ・保護者等への教育相談(家庭訪問又は面談)は全員隔月で実施
	(対象世帯の早期発見のための連携強化) ・生活困窮世帯を早期発見し、適切な支援に結びつけるため、専門の機関や府内の関係課で組織する生活困窮者自立支援ネットワーク会議を年2回開催し、連携体制を強化した。
評価／改善点	(評価) ・高校進学については、進学希望者の全入学を達成することができた。 ・タブレット端末を利用したオンライン授業が可能になったことで、生活環境や利用者のニーズに合わせた支援を実施することができた。 (課題) ・個人の事情もあるが出席率が低い利用者もみられるため、面談の際に出席を促す等、出席率の向上を図る。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	・生活困窮世帯を対象に学習の場を提供し、学習支援を行うとともに、保護者に対して養育支援を行った。
	成果指標 高校進学率	100%	100%	高校進学を希望する中学3年生の高校進学率	
4年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 高校進学率	100%	100%	高校進学を希望する中学3年生の高校進学率	
5年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 高校進学率	100%	100%	高校進学を希望する中学3年生の高校進学率	
6年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 高校進学率	100%	100%	高校進学を希望する中学3年生の高校進学率	
7年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度		2回/年度	・生活困窮世帯を対象に学習の場を提供し、学習支援を行うとともに、保護者に対して養育支援を行う。
	成果指標 高校進学率	100%		高校進学を希望する中学3年生の高校進学率	

5 連携が必要な機関

1	沼津市自立相談支援センター	事業所
2	沼津市生活困窮世帯学習支援事業業務委託受託者	事業者
3	こども家庭課	府内
4	沼津市教育委員会	府内

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	社会福祉課
担当者(電話)	島岡(内線2063)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	8	高齢者・障害のある人等の社会参加支援					生活に困窮する高齢者や障害のある人に対して社会的自立に向けた支援を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	8		

1 事業の目的

生活保護に至る前の段階で、自立に向けた包括的な支援を行い、様々な分野の社会資源と連携し、活用することで、生活困窮者の支援を通じた地域づくりに取り組む。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

高齢者・障害者の社会参加支援においては、行政及び関係機関が協働して推進することは当然であるが、年齢・性別の垣根を越えて地域住民が「生活困窮者の支援を通じた地域づくり」に取り組む必要がある。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談を受け、個々の状態により必要な支援の提供につなげた。 <令和6年度相談実績> 相談件数 510件(男性304件、女性206件) うち高齢者139人(男性86件、女性53件) 障がい者45人(男性23件、女性22件) 高齢障がい者4人(男性4件) プラン件数 137件(男性87件、女性50件) 目標達成 72件(男性51件、女性21件) ・困窮者支援のため関係機関及び庁内関係部署による連絡確認を行った。 沼津市生活困窮者ネットワーク会議 令和6年度2回開催(第1回令和6年7月3日、第2回令和7年2月26日)
	・被害者のニーズと能力を的確に把握し、自立を促進することを目標に関係機関と連携して支援をしている。 ・目標値よりも大幅に相談件数が多く、相談内容も多様であるため、相談員等のさらなるスキルアップや情報収集が重要である。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	・自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談を受け、個々人の状況により必要な支援に繋げた。 ・民生委員等による声掛けなどのインフォーマルな支援を行った。
	成果指標 新規相談件数の目標値	相談者 330人	1028	1カ月あたり30件	
4年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 新規相談件数の目標値	相談者 330人	525	1カ月あたり30件	
5年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 新規相談件数の目標値	相談者 330人	577	1カ月あたり30件	
6年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度	2回	2回/年度	"
	成果指標 新規相談件数の目標値	相談者 330人	510	1カ月あたり30件	
7年度	活動指標 ネットワーク会議の開催	2回/年度		2回/年度	・自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談を受け、個々人の状況により必要な支援に繋げる。 ・民生委員等による声掛けなどのインフォーマルな支援を行う。
	成果指標 新規相談件数の目標値	相談者 330人		1カ月あたり30件	

5 連携が必要な機関

6 新型コロナ以降の課題

1	沼津市自立相談支援センター	事業者
2	沼津公共職業安定所	国・県
3	障がい福祉課	府内
4	長寿福祉課	府内

懸念事項	無	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	丸山(内線2184)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	1	2	教育・保育の場での人権尊重に関する教育の充実					「ふれあい保育」を通じて、保護者や保育士等への子供の人権尊重に関する教育を充実させる。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	D	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	10			

1 事業の目的

障がいを持つ児童と保育所に入所している健常児との交流保育の実施により、その内容について保育士が検討し、保護者に対して説明していくことで、保育士、保護者の人権の尊重に関する意識と考え方を深めていく。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

保育の現場は多様な発達課題を有する子どもへの対応など、現場職員の資質の向上が求められているなか、子どもへの人権尊重する意識を育むことの重要性を認識し、保育に取り組んでいくこと。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	児童発達支援センターみゆき 【北部保育所とのふれあい保育事業】 <ul style="list-style-type: none">・ 5月、6月及び10月に、北部保育所の児童がみゆきを訪問し、みゆきの児童と交流した。・ 11月に、みゆきの児童が北部保育所を訪問し、北部保育所の児童と交流した。 【年長児のふれあい保育】 <ul style="list-style-type: none">・ 対象者 7人(みゆき年長児のうち希望した児童)・ 受入園 北部保育所(2人)、大岡保育所(2人)、ときわ保育所(2人)、大平保育所(1人)・ 実施期間 6月～3月 毎週月曜日(9時～10時)
	障がいを持つ児童と健常児が継続的に交流をもつことで、両者の保護者や保育士の子どもに対する理解を深めるため、今後も継続して実施していきたい。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 ふれあい保育事業の実績数	4回／年	0	北部保育所とのふれあい事業の実績	公立保育所入所児童と児童発達支援センターみゆきに通所する障がいを持つ児童とのふれあい保育を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	成果指標 年長児のふれあい保育の参加対象者の参加率	80%	0%	ふれあい保育の参加対象者/対象者	
4年度	活動指標 ふれあい保育事業の実績数	4回／年	3	北部保育所とのふれあい事業の実績	公立保育所入所児童と児童発達支援センターみゆきに通所する障がいを持つ児童とのふれあい保育を実施 【ふれあい事業】 5月11日(9人参加)、6月15日(12人参加)、10月18日(10人参加) 【ふれあい保育】 北部保育所19回、大岡保育所21回、ときわ保育所21回 参加者各2人
	成果指標 年長児のふれあい保育の参加対象者の参加率	80%	86%	ふれあい保育の参加対象者/対象者	
5年度	活動指標 ふれあい保育事業の実績数	4回／年	2	北部保育所とのふれあい事業の実績	公立保育所入所児童と児童発達支援センターみゆきに通所する障がいを持つ児童とのふれあい保育を実施 【北部保育所とのふれあい保育事業】 6月14日(13人参加)、10月18日(13人参加) 【年長児のふれあい保育】 北部保育所12回、大岡保育所16回、ときわ保育所17回 参加者各2人
	成果指標 年長児のふれあい保育の参加対象者の参加率	80%	63%	ふれあい保育の参加対象者/対象者	
6年度	活動指標 ふれあい保育事業の実績数	4回／年	4	北部保育所とのふれあい事業の実績	公立保育所入所児童と児童発達支援センターみゆきに通所する障がいを持つ児童とのふれあい保育を実施 【北部保育所とのふれあい保育事業】 5月8日(9人参加)、6月12日(8人参加)、10月16日(9人参加)、11月6日(24人参加) 【年長児のふれあい保育】 北部保育所15回(各2名参加)、大岡保育所20回(各2名参加)、ときわ保育所23回(各2名参加)、大平保育所18回(各1名参加)
	成果指標 年長児のふれあい保育の参加対象者の参加率	80%	41%	ふれあい保育の参加対象者/対象者	
7年度	活動指標 ふれあい保育事業の実績数	4回／年		北部保育所とのふれあい事業の実績	〃
	成果指標 年長児のふれあい保育の参加対象者の参加率	80%		ふれあい保育の参加対象者/対象者	

5 連携が必要な機関

1	児童発達センターみゆき	庁内
2	保護者	
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	児童発達センターみゆきの児童が障害を抱えているため、感染症の拡大状況により中止となる可能性がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	勝呂(内線2155)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現					子育て支援センターにおいて、男性に対し、育児等への参加について、きっかけづくりの場を提供する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール				
取組状況	C	B	B	B		3				
実績	B	B	B	B		5				

1 事業の目的	2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ
講座等を通じて、男性の育児等参加を推進し、育児負担の偏重の是正を図る。	男性の子育て参加の意識を高め、バランスの良い育児分担等を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点	<p>取組状況及び実績</p> <p>沼津っ子ふれあいセンター(通称:ぽっぽ)において、毎月第一土曜日の11:15~11:45に「お父さんデー」を開催し、毎回あそびのテーマを決め、父親だけでなく、家族で参加できるようPRしている。 <内容> ・日本の伝統行事に親子で親しむ活動:お月見・お正月遊び・節分・ひな祭り等は、家族での参加があった。 ・お父さん公園、むかしあそび等、体操や親子で体を動かす遊び、ダイナミックな動きや製作等実施。 <参加者> 全12回 大人128人(うち父親47人) こども130人 計 258人</p> <p>評価／改善点</p> <p>父親の参加については、回数を重ねる毎に場所やセンターの様子に慣れ、通常のセンター利用において親子での参加が見られる。お父さんデーを目指して継続して参加する父親もあり、親子・家族で楽しめる企画ができた。今後も、父親だからこそ子どもと楽しめる内容を考慮した遊びを提供できるようにしていく。</p>
--------------------------	--

4 計画期間内の取組内容						
年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容	
3年度	活動指標 父親向けの家事・育児に資する講座の参加率	30%	26.7%	父親の参加者／大人の参加者	「お父さんデー」の開催 アンケートについては令和3年度は実施しなかった。	
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	-	講座や研修の満足度		
4年度	活動指標 父親向けの家事・育児に資する講座の参加率	30%	48.1%	父親の参加者／大人の参加者	「お父さんデー」の開催 アンケートについては令和4年度は実施しなかった。	
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	-	講座や研修の満足度		
5年度	活動指標 父親向けの家事・育児に資する講座の参加率	30%	32.8%	父親の参加者／大人の参加者	父親向けの家事・育児に資する講座等の開催	
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	68%	講座や研修の満足度		
6年度	活動指標 父親向けの家事・育児に資する講座の参加率	30%	36.70%	父親の参加者／大人の参加者	行事の中で、父親が主役になる内容や自宅で遊べる運動遊びや歌や曲に合わせたふれあい遊びをミニ講座で紹介。	
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	70%	講座や研修の満足度		
7年度	活動指標 父親向けの家事・育児に資する講座の参加率	30%		父親の参加者／大人の参加者	〃	
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%		講座や研修の満足度		

5 連携が必要な機関	6 新型コロナ以降の課題
1	懸念事項 有 理由 感染症の状況により事業が中止となる可能性がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	木島(2183)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
IV V	7	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進				関係機関と連携し、ひとり親専用相談窓口による情報提供や相談機能の充実を図るとともに、職業資格取得支援給付金の積極的な活用を図り、ひとり親家庭の自立を促進する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	3	4	5	10

1 事業の目的

シングルペアレントが自らの力で、新たな安定した生活基盤をつくり出すことを総合的に支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

出産・育児等によって仕事から離れることが多い女性のため、ひとり親専用の相談窓口では、様々な支援機関と連携し、安定した生活環境へ繋げるための職業技術取得支援等を行う。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	○平成28年度から、ひとり親専用相談窓口を設置し、専用メール・専用電話を設置により気軽に相談できる環境を整え継続中。 ・令和6年度 相談件数209件(母子家庭・寡婦204件、父子家庭5件)
	○母子家庭の母・父子家庭の父の自立を促進し、就職の際に有利で生活安定に資する資格取得の促進を図るため、給付金を支給した。 高等職業訓練促進給付金支給者9人(女9・男0) 8,812,500円 高等職業訓練修了支援給付金支給者 2人(女2・男0)100,000円 母子家庭等自立支援教育訓練給付金支給者1人(女1・男0)200,000円
評価/改善点	・ひとり親家庭等への総合的な支援窓口の周知活動を推進し、他の福祉関連機関等との連携を密にすることで、窓口・電話・メール相談の充実を図った。 ・職業資格取得支援については、制度改革による支援の拡充内容について周知を図った。 ・職業資格取得支援について、国・県やハローワーク等の他機関で実施している支援内容を把握し、相談者に対し適切に情報提供できるよう、引き続き情報収集及び連携強化を図る必要がある。 ・ひとり親専用相談窓口利用者や、各種給付金対象者のアフターケアにも努め、継続した見守りを行っていく必要がある。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 職業技術資格取得給付金受給者数	20人	11人	人/年	・メールや窓口などで、情報提供や相談を実施し、アフターケアを行った。 ・相談窓口の周知を図り、問い合わせや相談しやすい環境の充実を図った。 ・職業技術取得支援利用者の確保をした。
	成果指標 ひとり親専用相談窓口相談件数	360件	306件	件/年	
4年度	活動指標	"	22人	9人	・メールや窓口などで、情報提供や相談を実施し、アフターケアを行った。 ・相談窓口の周知を図り、問い合わせや相談しやすい環境の充実を図った。 ・職業技術取得支援利用者の確保をした。
	成果指標	"	358件	286件	"
5年度	活動指標	"	23人	14人	・メールや窓口などで、情報提供や相談を実施し、アフターケアを行った。 ・相談窓口の周知を図り、問い合わせや相談しやすい環境の充実を図った。
	成果指標	"	356件	314件	"
6年度	活動指標	"	25人	9人	・メールや窓口などで、情報提供や相談を実施し、アフターケアを行った。 ・相談窓口の周知を図り、問い合わせや相談しやすい環境の充実を図った。
	成果指標	"	354件	221件	"
7年度	活動指標	"	27人	"	
	成果指標	"	352件	"	

5 連携が必要な機関

1	自立支援センター	
2	社会福祉協議会	
3	ハローワーク	国・県
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	非正社員の失業等が増加する懸念があるため、職業資格取得支援を必要とする人に適切に情報が届くよう積極的に周知を行う必要がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	佐藤(内線2185)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	7	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進					子育て支援分野の各事業に従事する職員を確保するため、県で実施する研修への参加を促進する				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	C	B	C	C	

SDGsのゴール				
3	8			

1 事業の目的

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、子どもが健やかに成長できる環境、体制が確保されるような子育て支援の担い手となる人材を確保するため。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

結婚や出産、子育てで現在離職している保育士資格取得者(潜在保育士)の再就職への支援のためのサポート。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県子育て支援員研修の受講案内を、保育園長の集まりで説明し参加を促した。 基本研修 2日 専門研修 講座1～4日 実習1～2日
評価／改善点	<p>市内の保育園等に参加を推進することができた。 個人で申し込みをするため、参加者数や就職者数の把握が難しい。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 受講案内の周知	8か所	8か所	受講案内配付か所	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援員研修参加の推進(県で実施するもの) 潜在保育士の再就職へのサポート
	成果指標 研修参加者数	20人	10人	研修修了者数	
4年度	活動指標 受講案内の周知	8か所	8か所	受講案内配付か所	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援員研修参加の推進(県で実施するもの) 潜在保育士の再就職へのサポート
	成果指標 研修参加者数	20人	19人	研修修了者数	
5年度	活動指標 受講案内の周知	8か所	8か所	受講案内配付か所	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援員研修参加の推進(県で実施するもの) 潜在保育士の再就職へのサポート
	成果指標 研修参加者数	20人	12人	研修修了者数	
6年度	活動指標 受講案内の周知	8か所	8か所	受講案内配付か所	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援員研修参加の推進(県で実施するもの) 潜在保育士の再就職へのサポート
	成果指標 研修参加者数	20人	8人	研修修了者数	
7年度	活動指標 受講案内の周知	8か所		受講案内配付か所	<ul style="list-style-type: none"> "
	成果指標 研修参加者数	20人		研修修了者数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染状況により研修会が中止となる可能性がある。
------	---	----	-------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	塗木(内線2155)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
IV V	7	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進				保育所の整備等と相互補完のもと延長保育、一時預かり等、地域子ども・子育て支援事業の充実を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	8	11	

1 事業の目的

多様な保育ニーズに対応していくため、各種保育事業を実施し、ワーク・ライフ・バランス実現のための環境整備の実現を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

少子高齢化の進行、ひとり親世帯の増加により、課題や不安を抱える世帯に対し、多様な保育事業により支援していく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	各保育所等において、延長保育、一時預かり事業、一時保育事業、乳幼児保育事業、障がい児保育事業、外国人児童保育事業、病後児保育、休日保育事業を実施した。 【事業実施保育所等の数】 R5 ⇒ R6 ・ 延長保育事業 28 ⇒ 28 ・ 一時預かり事業 12 ⇒ 12 ・ 一時保育事業 9 ⇒ 10 ・ 乳幼児保育事業 47 ⇒ 40 ・ 障がい児保育事業 10 ⇒ 8 ・ 外国人児童保育事業 2 ⇒ 2 ・ 病後児等保育事業 5 ⇒ 6 ・ 休日保育 1 ⇒ 1
	保護者の就労形態に伴い、市民の多様なニーズにあわせた保育サービスを提供している

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 各事業サービスの充実	8	8	サービス事業数	延長保育、一時預かり事業等、子ども・子育て支援事業計画に基づき実施
	成果指標 各事業の実績数	110	105	各事業を実施した保育所等数	
4年度	活動指標 各事業サービスの充実	8	8	サービス事業数	延長保育、一時預かり事業等、子ども・子育て支援事業計画に基づき実施
	成果指標 各事業の実績数	110	111	各事業を実施した保育所等数	
5年度	活動指標 各事業サービスの充実	8	8	サービス事業数	延長保育、一時預かり事業等、子ども・子育て支援事業計画に基づき実施
	成果指標 各事業の実績数	110	114	各事業を実施した保育所等数	
6年度	活動指標 各事業サービスの充実	8	8	サービス事業数	延長保育、一時預かり事業等、子ども・子育て支援事業計画に基づき実施
	成果指標 各事業の実績数	110	107	各事業を実施した保育所等数	
7年度	活動指標 各事業サービスの充実	8		サービス事業数	〃
	成果指標 各事業の実績数	110		各事業を実施した保育所等数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染状況により規模の縮小となる可能性がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	加藤(内線2157)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	7	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進					放課後子ども総合プランに基づき、全ての就学児童が放課後に安全・安心に過ごすことができるよう事業を推進する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	C	D	

SDGsのゴール				
3	5	8		

1 事業の目的

保護者が安心して子どもを預け、安全・安心に過ごすことができる環境を整えられるよう、放課後子ども総合プランを推進していく。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

ワーク・ライフ・バランス実現のための子育て支援体制、特に小学校就学後の支援に取り組むもの。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの運営 22校区39か所 放課後児童クラブの施設整備：令和6年度の新たな施設整備はなし。 多様化する働き方や社会状況の変化に伴い、細分化された利用者のニーズに対応するため、令和7年度からノウハウを有する専門事業者への委託へ移行する当たって、新事業者の運営移行準備を行った。
評価／改善点	開所日時の拡大等のニーズに令和7年度から対応するため、専門事業者への運営移行を行い、より一層の子育て支援に向けて推進した。今後も保護者が安心して子供を預けられるよう、クラブの環境整備や支援員の質を高めていく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 放課後児童クラブ数	39クラブ	39	放課後児童クラブ数	放課後子ども総合プランの推進 ・小1の壁に対しての検討
	成果指標 待機児童数	0人	0	待機児童数	
4年度	活動指標 放課後児童クラブ数	39クラブ	39	放課後児童クラブ数	放課後子ども総合プランの推進 ・小1の壁に対しての検討
	成果指標 待機児童数	0人	0	待機児童数	
5年度	活動指標 放課後児童クラブ数	39クラブ	39	放課後児童クラブ数	放課後子ども総合プランの推進 ・小1の壁に対しての検討
	成果指標 待機児童数	0人	2	待機児童数	
6年度	活動指標 放課後児童クラブ数	39クラブ	39	放課後児童クラブ数	・多様化する働き方や社会状況の変化に伴う利用者のニーズ(開所日時の拡大等)に対応するため、令和7年度からノウハウを有する専門事業者への委託に移行するに当たって、新事業者の運営移行準備を行った。 ・放課後子ども総合プランの推進 ・小1の壁に対しての検討
	成果指標 待機児童数	0人	12	待機児童数	
7年度	活動指標 放課後児童クラブ数	39クラブ		放課後児童クラブ数	"
	成果指標 待機児童数	0人		待機児童数	

5 連携が必要な機関

1	沼津市放課後児童クラブ連絡協議会	自治会
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課
担当者(電話)	勝呂(内線2155)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	8	19	教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成					保育士を対象に、男女平等や共同参画の意識を取り入れた研修を行い、資質を高める。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール	3	5	10		
取組状況	D	D	B	B							
実績	C	C	B	B							

1 事業の目的

保育士が研修を通じて専門性を高め、質の高い幼児教育・保育を行うとともに、資質を高めていくことを目的とする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

子ども・子育て支援新制度が施行されたことにより、保育士の資質の向上は常に求められるものであり、多様化する保護者のニーズに対応できるよう継続していくもの。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>沼津市幼児教育研究協議会において、保育所等を対象に研修会を1回開催した。 ・第1回:令和7年3月18日(火) 沼津市民文化センター 「乳幼児期にこそ育みたい“からだ観”～乳幼児期の包括的性教育～」 参加:26園、42名</p>
評価／改善点	<p>アンケートを実施したところ「とても良い研修会だった」「良かった」「タイムリーであり、興味深い内容であった」等の声を聞いた。 概ね保育の質や保育士の資質の向上につながったものと考える。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 研修会開催	2回／年	0	年間開催数	コロナ禍により研修会中止
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	0	研修の有意義度	
4年度	活動指標 研修会開催	2回／年	0	年間開催数	コロナ禍により研修会中止
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	0	研修の有意義度	
5年度	活動指標 研修会開催	2回／年	1	年間開催数	沼津市幼児教育研究協議会による、保育の質や資質の向上に資する研修会の開催促進
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	0	研修の有意義度	
6年度	活動指標 研修会開催	2回／年	1	年間開催数	沼津市幼児教育研究協議会による、保育の質や資質の向上に資する研修会の開催促進 14/20園(回答あり) 14…とても良い、良い
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%	70	研修の有意義度	
7年度	活動指標 研修会開催	2回／年		年間開催数	"
	成果指標 参加者にアンケートを実施	97%		研修の有意義度	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染症の状況により事業が中止となる可能性がある。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	こども未来創造課こども家庭センター
担当者(電話)	高野(5356)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
I	II	6	被害者への相談体制の充実と自立支援					被虐待児及びその家庭に対する相談体制の充実、関係機関との連携強化を図り、継続した個別指導や見守りを実施する。経済的困窮やDV被害等を受けた母子世帯に自立に向けた就労等の生活支援を行う。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
1	2	3	5	10

1 事業の目的

被虐待児及びその家庭に対する相談及び支援を充実させ、児童福祉の向上を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

ひとり親世帯が相談しやすい環境を整える。経済的困窮やDV被害等を受けた母子世帯に対し、福祉施設入所させる等就労や自立を支援する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童対策地域協議会における実務者会議実績について 児童虐待分科会(11回)、育児支援分科会(12回)、非行分科会(12回)の各分科会を定期的に実施(計35回)。 分科会間の連携を強化し支援を充実させるための調整を図り、令和7年度から実務者会議実施体制を変更することとした。 個別のネットワーク会議実績数 年間開催回数 計59回 母子生活支援施設入所数(令和7年3月31日現在) 3施設(市内1、市外2) 10世帯(入所児童数17人)
	<p>児童虐待において、被虐待児と虐待をしている保護者、両面への対応が課せられている中で、子どもの人権や利益を守るために、継続した個別指導や見守りを実施する。関係機関との連携が必要となるため、実務者会議や個別検討会議を通じて情報共有を行い、要保護児童の把握とその援助方針の確認に努める。</p> <p>令和6年度からは、児童福祉・母子保健を一体とした「こども家庭センター」が組織され、妊娠・出産から学齢期までの相談を一元的に対応可能な体制となったことで、早期発見や支援の充実を図っている。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名		目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	要保護児童取扱件数		420件	293件	件/年
	成果指標	虐待通告件数		170件	132件	件/年
4年度	活動指標	"		420件	248件	"
	成果指標	"		170件	117件	"
5年度	活動指標	"		420件	197件	"
	成果指標	"		170件	103件	"
6年度	活動指標	"		420件	217件	"
	成果指標	"		170件	105件	"
7年度	活動指標	"		420件		"
	成果指標	"		170件		"

5 連携が必要な機関

1	児童相談所	国・県
2	健康づくり課	庁内
3	市内小中学校	
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	親子で家で一緒に過ごす時間が長くなると親子間の軋轢が生まれる原因となり、虐待が起きやすくなることが懸念される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	長寿福祉課
担当者(電話)	辻(3131)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	8	高齢者・障害のある人等の社会参加支援					高齢者が安心して社会生活を送るために生活サポートや職業支援及び高齢者が気軽に参加できるイベントの開催、老人クラブの活動支援などを実行する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	10	17		

1 事業の目的

高齢者の生きがいづくりと健康づくりの推進により、高齢者福祉の充実を図り、心のかよう支え合いのまちづくりをすすめる。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

少子高齢化の進行や人間関係が希薄化する中、高齢者が性別に関わりなく、それぞれの個性や能力を活かしながら地域活動に参画できるよう、実践的な活動支援を行う。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況 及び 実績	○高齢者の生きがいづくりと健康づくりのための教室の開催	R6年度～廃止
	・「すいせい動作講座」	13回、235人(男性 38人、女性197人)
	・「高齢者からだセルフケア」	26回、131人(男性 25人、女性 106人)
	・「高齢者向け体操教室」	1回、89人(男性 28人、女性 61人)
	・「セカンドライフ講座」	3回、51人(男性 12人、女性 39人)
	・「ノルディックウォーキング教室」	4回、39人(男性9人、女性30人)
	○老人クラブ活動支援	
	・老人クラブ連合会運営補助	1,443千円
	・単位老人クラブ連合会運営補助	1,775千円
	・広報ぬまづでの活動紹介	2回
	○高齢者の就業支援	
	・シルバー人材センター主催事業の紹介	14回
評価 ／ 改善点	講座開催にあたっては、利用者のニーズ等を考慮しながら、開催講座の種類を再編した。残りの講座については、コロナ禍にあっても、各講座や活動支援・就業支援をおおむね計画通りに実施した。 講座の参加者は女性の比率が高い講座が多かった。今後とも、男女ともに参加しやすい講座の開催に努めていく。	

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	生きがいと健康づくりへの取組	計46教室	42	生きがいと健康づくりに資する教室の回数	・42教室の開催(参加者759人)による高齢者の生きがいづくりと健康づくりの推進。 ・シルバー人材センター主催事業PR(6回)及び老人クラブへの補助(1市老連、55単老連)による高齢者の活動支援。 ・高齢者の介護予防の啓発及び講座等への参加促進。
	成果指標	認定を受けていない前期高齢者の割合	96.8%	96.5%	65～74歳の要介護認定者数/65～74歳の1号被保険者数	
4年度	活動指標	生きがいと健康づくりへの取組	計46教室	27	生きがいと健康づくりに資する教室の回数	・27教室の開催(参加者560人)による高齢者の生きがいづくりと健康づくりの推進 ・シルバー人材センター主催事業PR(13回)及び老人クラブへの補助(1市老連、55単老連)による高齢者の活動支援。 ・高齢者の介護予防の啓発及び講座等への参加促進。
	成果指標	認定を受けていない前期高齢者の割合	96.8%	96.0%	65～74歳の要介護認定者数/65～74歳の1号被保険者数	
5年度	活動指標	生きがいと健康づくりへの取組	計46教室	30	生きがいと健康づくりに資する教室の回数	・30教室の開催(参加者544人)による高齢者の生きがいづくりと健康づくりの推進 ・シルバー人材センター主催事業PR(14回)及び老人クラブへの補助(1市老連、46単老連)による高齢者の活動支援。 ・高齢者の介護予防の啓発及び講座等への参加促進。
	成果指標	認定を受けていない前期高齢者の割合	96.8%	96.0%	65～74歳の要介護認定者数/65～74歳の1号被保険者数	
6年度	活動指標	生きがいと健康づくりへの取組	計46教室	47	生きがいと健康づくりに資する教室の回数	・47教室の開催(参加者545人)による高齢者の生きがいづくりと健康づくりの推進 ・シルバー人材センター主催事業PR(14回)及び老人クラブへの補助(1市老連、42単老連)による高齢者の活動支援。 ・高齢者の介護予防の啓発及び講座等への参加促進。
	成果指標	認定を受けていない前期高齢者の割合	96.8%	96.2%	65～74歳の要介護認定者数/65～74歳の1号被保険者数	
7年度	活動指標	生きがいと健康づくりへの取組	計46教室		生きがいと健康づくりに資する教室の回数	・高齢者の生きがいづくりと健康づくりの実施。 ・シルバー人材センターが主催する事業のPR。 ・老人クラブ連合会及び単位老人クラブに活動費補助を行う。 ・高齢者の介護予防事業への参加促進
	成果指標	認定を受けていない前期高齢者の割合	96.8%		65～74歳の要介護認定者数/65～74歳の1号被保険者数	

5 連携が必要な機関

1 地域包括支援センター	事業所
2 社会福祉協議会	事業所
3 沼津市老人クラブ連合会	自治会
4 沼津市シルバー人材センター	事業所

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナ感染拡大状況により、講座等の中止や延期の可能性がある。
------	---	----	----------------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	長寿福祉課
担当者(電話)	辻(3131)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現					認知症や介護に关心があり、現在、認知症等の高齢者を介護する市民に対し、男女の区別なく家族ぐるみで、認知症や介護の知識等に関する学習機会を提供する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	C	C	B	B		3 10 17
実績	C	C	B	B		

1 事業の目的

介護予防における男女共同参画を推進していくため、介護や認知症との予防に対する理解・周知、地域で暮らす要介護者や認知症の方等への理解や見守りに対する知識を深めてもらう。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

介護や認知症に関する教室や講座での講話内容に、男性の介護などへの参画を促すような内容を含むよう留意する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターにおける家族介護教室含む認知症カフェの実施 計148回、1,751人(男性328人、女性1,423人) ・認知症予防講演会の実施 3回、79人(男性15人、女性64人) ・認知症サポーター養成講座の実施 43回、1,443人(男性642人、女性801人)
評価／改善点	<p>家族介護教室含む認知症カフェの実施を各圏域定期的に実施。三浦・戸田を除く地域では年間100名以上が参加された。また、例年同様認知症予防講演会も開催。認知症等の介護支援に関する理解度が増した。 認知症サポーター養成数は微減(24人減)だが、前年度同様認知症支援の輪を広げられている。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 認知症予防講演会の開催	3回	2回	3回／年度	認知症予防講演会 9/11、11/13 家族介護教室 21回
	成果指標 認知症高齢者支援指標	28.60%	15.68%	認知症サポーター養成講座 受講者数／要介護等認定者数	= 1,502/9,580 = 15.68%
4年度	活動指標 認知症予防講演会の開催	3回	2回	3回／年度	認知症予防講演会 2回(7/2、10/22) 家族介護教室 計30回
	成果指標 認知症高齢者支援指標	28.90%	14.68%	認知症サポーター養成講座 受講者数／要介護等認定者数	認知症サポーター養成講座受講者数／要介護認定者数 1,425/9,706 = 14.68%
5年度	活動指標 認知症予防講演会の開催	3回	2回	3回／年度	認知症予防講演会 2回(6/17、10/21) 家族介護教室 計27回
	成果指標 認知症高齢者支援指標	29.30%	14.92%	認知症サポーター養成講座 受講者数／要介護等認定者数	認知症サポーター養成講座受講者数／要介護認定者数 1,467/9,835 = 14.92%
6年度	活動指標 認知症予防講演会の開催	3回	3回	3回／年度	認知症予防講演会 3回(6/22,10/19,11/16) 家族介護教室含む認知症カフェの実施 148回
	成果指標 認知症高齢者支援指標	29.70%	14.59%	認知症サポーター養成講座 受講者数／要介護等認定者数	認知症サポーター養成講座受講者数／要介護認定者数 1,443/9,885 = 14.59%
7年度	活動指標 認知症予防講演会の開催	3回		3回／年度	各包括圏域ごとに「家族介護教室」を実施 認知症予防講演会の実施 認知症サポーター養成講座を実施
	成果指標 認知症高齢者支援指標	30%		認知症サポーター養成講座 受講者数／要介護等認定者数	

5 連携が必要な機関

6 新型コロナ以降の課題

1			
2			
3			
4			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	長寿福祉課
担当者(電話)	辻(3131)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現					地域包括支援センターの活用などによる地域での介護支援体制と相談体制の充実を図る。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	10	17		

1 事業の目的

地域における介護支援体制を推進していくため、地域や地域の人々が抱える幅広い分野の課題を取り上げ、介護の視点を活かしながら、多様な主体が連携・協働して課題を解決する実践的活動を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

少子高齢化の進行や人間関係の希薄化、単身世帯の増加などの課題を抱える地域において、市民一人ひとりが個性を尊重し、また尊重されながら主体的に地域支援に参画し、男女共同参画が普及・浸透するよう実践的活動を行う。それにより地域力を高め、持続可能な社会を形成する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターによる相談体制の充実 <p>【地域包括支援センターの利用状況】 相談件数(令和6年度新規相談件数): 計5,235件(基幹型包括 336件、委託包括 4,899件)</p>
評価／改善点	新規相談件数は対前年度比46件減と微減も、前年度同様に市内各包括支援センターの活用が図られた。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 地域包括支援センターの整備	12か所	12か所	地域包括支援センター数	総合相談件数/要介護等認定者数 3,159/9,580 = 32.97%
	成果指標 総合相談指標	49.30%	32.97%	総合相談件数／要介護等認定者数	
4年度	活動指標 地域包括支援センターの整備	12か所	12か所	地域包括支援センター数	基幹型地域包括支援センター 1か所 地域包括支援センター 11か所 総合相談件数/要介護等認定者数 5,099/9,706=52.53%
	成果指標 総合相談指標	49.30%	52.53%	総合相談件数／要介護等認定者数	
5年度	活動指標 地域包括支援センターの整備	12か所	11か所	地域包括支援センター数	基幹型地域包括支援センター 1か所 地域包括支援センター 10か所 総合相談件数/要介護等認定者数 5,281/9,835=53.69%
	成果指標 総合相談指標	49.30%	53.69%	総合相談件数／要介護等認定者数	
6年度	活動指標 地域包括支援センターの整備	12か所	11か所	地域包括支援センター数	基幹型地域包括支援センター 1か所 地域包括支援センター 10か所 総合相談件数/要介護等認定者数 5,235/9,885=52.95%
	成果指標 総合相談指標	49.30%	52.95%	総合相談件数／要介護等認定者数	
7年度	活動指標 地域包括支援センターの整備	12か所		地域包括支援センター数	直接的な影響はないものと考える
	成果指標 総合相談指標	49.30%		総合相談件数／要介護等認定者数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないものと考える

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	介護保険課
担当者(電話)	北畠(内3181)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現					介護保険課の窓口で介護離職の話題が出た際、職員が共有している国の介護休業制度等の情報を提供する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

女性をはじめ、介護する家族の方の、介護と仕事との両立ができるよう支援を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別に関係なく、介護離職の防止に寄与する情報を提供する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	令和6年度の相談実績はなかったが、窓口、電話、要介護認定の訪問調査など様々な場面で、介護離職防止や介護休暇制度について相談があったときに対応できるよう情報共有を行った。
評価／改善点	今後も引き続き、情報提供や相談対応できる体制を整えていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	情報提供件数	モニタリング指標	なし	情報提供件数	介護保険課の窓口に相談に来られた方で、介護離職の話題が出た場合に、職員が共有している国の介護休業制度等の情報を提供できるよう体制を整えた。
	成果指標	情報提供件数	モニタリング指標	なし	情報提供件数	
4年度	活動指標	"	"	なし	"	窓口、電話、要介護認定の訪問調査などの際に、介護離職の話題が出た場合に、職員が共有している国の介護休業制度等の情報を提供できるよう体制を整えた。
	成果指標	"	"	なし	"	
5年度	活動指標	"	"	なし	"	介護保険課の窓口に相談に来られた方で、介護離職の話題が出た場合に、職員が共有している国の介護休業制度等の情報を提供できるよう体制を整えた。
	成果指標	"	"	なし	"	
6年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度	1	1回/年度	介護保険課の窓口に相談に来られた方で、介護離職の話題が出た場合に、国の介護休業制度等の情報を提供できるよう、課内研修を行う。
	成果指標					
7年度	活動指標	課内研修の実施	1回/年度		1回/年度	介護保険課の窓口に相談に来られた方で、介護離職の話題が出た場合に、国の介護休業制度等の情報を提供できるよう、課内研修を行う。
	成果指標					

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	特に影響はないと考える。
------	---	----	--------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	障がい福祉課
担当者(電話)	重田(3145)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	8	高齢者・障害のある人等の社会参加支援					障害のある人の人権を理解し、社会参加に対する市民のサポート意識の啓発を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	C	C	C	C	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	10			

1 事業の目的

啓発事業等の実施により、障害のある人が、住み慣れた地域で豊かに安心して暮らせる共生社会をつくるために「だれもが自分らしく お互いを思いやり ともに生きるまち ぬまづ」の実現を目指す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

障害者の人権を理解し、社会参加に対する市民のサポート意識の啓発を行う。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	沼津市「障害者週間」市民の集いを令和6年12月8日に開催し、小ホール270人、展示室211人の参加があった。市ホームページ、フェイスブック等で開催の広報を行い、市内の公共施設、各関係機関にてポスターの掲示、チラシの配布を行った。
評価／改善点	年々参加者数が減少していたが、障がいのある本人の体験発表や手話ロックバンドのアトラクションにより前年度よりも参加者は増加した。しかし、目標値よりは少なく、市民の集いの目的である「障がいのある人に対する理解と認識を深めるための啓発」について改めて考え直す必要がある。 具体的には開催方法、開催場所について、市民が集まりやすい形で検討を進める必要がある。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 啓発対象者数	800人	300人	参加者	沼津市「障害者週間」市民の集いの開催(年1回)
	成果指標 実行委員の女性登用率	50.00%	32.29%	女性委員/総委員	
4年度	活動指標 啓発対象者数	800人	150人	参加者	沼津市「障害者週間」市民の集いの開催(年1回)
	成果指標 実行委員の女性登用率	50.00%	43.75%	女性委員/総委員	
5年度	活動指標 啓発対象者数	800人	225人	参加者	沼津市「障害者週間」市民の集いの開催(年1回)
	成果指標 実行委員の女性登用率	50.00%	47.06%	女性委員/総委員	
6年度	活動指標 啓発対象者数	800人	270	参加者	沼津市「障害者週間」市民の集いの開催(年1回)
	成果指標 実行委員の女性登用率	50.00%	42.85%	女性委員/総委員	
7年度	活動指標 啓発対象者数	800人		参加者	沼津市「障害者週間」市民の集いの開催(年1回)
	成果指標 実行委員の女性登用率	50.00%		女性委員/総委員	

5 連携が必要な機関

1	「障害者週間」市民の集い実行委員会	庁外
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナ感染拡大防止の観点より、従来のような会場型(市民文化センター ホール)でのイベント啓発を実施することが困難になっている。
------	---	----	---

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	障がい福祉課
担当者(電話)	神部(3179)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	8	高齢者・障害のある人等の社会参加支援					障害のある人の自立した生活への支援及び相談体制を整える。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール				
取組状況	B	B	B	B		3				
実績	B	B	B	B		5				

1 事業の目的

障害のある人や家族などからの相談に応じ、障害のある人が住み慣れた地域で豊かに安心して暮らせるよう、福祉的見地から情報提供等の支援を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

セクハラ等、障害のある女性が被る可能性が高い不利益にも留意した対処を行う。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	本市の障がい者相談支援センター事業 相談件数 15,959件 (5,370人) (R5年度 17,384件 (5,359人)) ⑤相談に対する支援内容 20,510件 (1件の相談に複数の支援を行うため相談件数とは一致しない) (内訳) ①福祉サービスの利用等に関する支援 11,271 ⑦家計・経済に関する支援 4 ②障害や症状の理解に関する支援 377 ⑧生活技術に関する支援 594 ③健康・医療に関する支援 2,379 ⑨就労に関する支援 715 ④不安の解消・情緒安定に関する支援 2,391 ⑩社会参加・余暇活動に関する支援 347 ⑤保育・教育に関する支援 108 ⑪権利擁護に関する支援 270 ⑥家族関係・人間関係に関する支援 1,589 ⑫その他 465 ⑦虐待通報件数14件 (対象者の内訳 女性11人、男性2人、対象者不明1件)					
	障がい者相談支援の中核機関として、令和3年度に障がい者基幹相談支援センターを設置し、障がい者相談や虐待通報の窓口を明確にした。 今後も相談支援の中核機関としての基幹相談支援センターの周知を行い、関係機関と連携して相談支援を実施していく。					
評価／改善点						

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容	
3年度	活動指標 相談件数の推移	モニタリング指標	14,849	相談件数	障害者相談支援センターの設置	
	成果指標 相談件数の推移	モニタリング指標	14,849	相談件数		
4年度	活動指標 相談件数の推移	モニタリング指標	17,898	相談件数	障がい者相談支援センターの設置	
	成果指標 相談件数の推移	モニタリング指標	17,898	相談件数		
5年度	活動指標 相談件数の推移	モニタリング指標	17,384	相談件数	障がい者相談支援センターの設置	
	成果指標 相談件数の推移	モニタリング指標	17,384	相談件数		
6年度	活動指標 相談件数の推移	モニタリング指標	15,959	相談件数	障がい者相談支援センターの設置	
	成果指標 相談件数の推移	モニタリング指標	15,959	相談件数		
7年度	活動指標 相談件数の推移	モニタリング指標		相談件数	障がい者相談支援センターの設置	
	成果指標 相談件数の推移	モニタリング指標		相談件数		

5 連携が必要な機関

6 新型コロナ以降の課題

1	2	3	4	懸念事項	有	理由	在宅時間の増加により虐待の増加が懸念される
1							
2							
3							
4							

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	商工振興課
担当者(電話)	杉森 (2583)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
III	4	11	企業・各種団体における女性の積極的登用					ダイバーシティ経営やテレワーク導入等をテーマとするセミナーを開催するとともに、男女雇用機会均等法や非正規雇用の待遇改善に関する制度の動向、法改正等について情報提供する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	A	A	C	A	

SDGsのゴール				
1	5	8	9	17

1 事業の目的

男女の均等な機会と待遇の確保が図られ、一人ひとりの意欲と能力を生かせる環境づくりを進めるため、働き方改革による労働慣行の見直しや、非正規雇用における労働条件の見直しなど事業所への意識の変革を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女の均等な機会と待遇の確保が図られ、一人ひとりの意欲と能力を生かせる環境づくりを進めることが重要である。
そのため、働き方改革セミナーを開催するとともに、男女雇用機会均等法などについて関係機関と連携して広く啓発し、企業の意識変革を促す。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>【多様な働き方推進セミナーの開催】 参加社数:40社</p> <p>セミナー内容 育休制度の概要や育休取得推進が事業者にもたらす効果等を踏まえながら、『女性』『高齢者』『障がいのある人』『外国人』の採用の必要性や雇用に関する情報提供や事例を説明。</p> <p>令和6年度は、男性の育児休業取得推進について、沼津市役所の事例を紹介した。</p>
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度、5年度と成果指標が目標値を下回っていたが、令和6年度は目標値をクリアすることができた。 今後も様々な媒体を通じて周知を行うなど、参加しやすいセミナーとしていく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 企業向け働き方改革セミナーの開催	1回/年度	4回/年度	1回/年度	テレワークセミナー開催
	成果指標 企業向け働き方改革セミナー 参加事業所数	20事業所	30事業所	参加事業所数	
4年度	活動指標 企業向け働き方改革セミナーの開催	1回/年度	2回/年度	1回/年度	ダイバーシティ経営セミナー テレワーク導入セミナー
	成果指標 企業向け働き方改革セミナー 参加事業所数	20事業所	8事業者	参加事業所数	
5年度	活動指標 企業向け働き方改革セミナーの開催	1回/年度	1回/年度	1回/年度	多様な働き方セミナー
	成果指標 企業向け働き方改革セミナー 参加事業所数	20事業所	12事業者	参加事業所数	
6年度	活動指標 企業向け働き方改革セミナーの開催	1回/年度	1回/年度	1回/年度	多様な働き方推進セミナー
	成果指標 企業向け働き方改革セミナー 参加事業所数	20事業所	40事業者	参加事業所数	
7年度	活動指標 企業向け働き方改革セミナーの開催	1回/年度		1回/年度	働き方改革セミナー開催 (ダイバーシティ経営)
	成果指標 企業向け働き方改革セミナー 参加事業所数	20事業所		参加事業所数	

5 連携が必要な機関

1	静岡労働局	国・県
2	静岡県	国・県
3	沼津商工会議所	事業所
4	沼津市商工会	事業所

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	セミナー等の開催について、「沼津市におけるイベント等実施ガイドライン」に基づき、感染拡大防止対策を行う。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	商工振興課
担当者(電話)	高遠(内線2585)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
III	5	13	女性の社会的活躍を目指した意識向上・能力発揮のための支援					ぬまづビジネスサポート連絡会を組織し、女性起業者や新規起業創業者に対する課題解決に向けた情報提供・支援を行う。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	A	A	C	C	

SDGsのゴール				
5	8	9	17	

1 事業の目的

女性の社会的活躍のために、就業意識向上に向けた支援を行うとともに、市内の起業を促進していくため、関係機関が連携して起業しやすい環境づくりを図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

起業事例紹介、創業セミナー、相談会について、女性講師を迎える等女性の参加が見込めるよう取り組む。また、女性の起業創業を支援するセミナーや女性向け就職支援セミナーを開催し、女性の就業意識の啓発や支援に努める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	1. Woman's起業応援スクールの開催 (開催回数4回) 延べ参加者数115名 (内女性115名) 実数 29名 (内女性 29名) 2. スモールビジネス起業セミナーの開催 (開催回数5回) 延べ参加者数 52名 (内女性39名) 実数 11名 (内女性 8名) 3. ソーシャルビジネス起業セミナーの開催 (開催回数5回) 延べ参加者数 26名 (内女性16名) 実数 13名 (内女性 6名) 4. 創業者フォローアップセミナーの開催 (開催回数3回) 延べ参加者数 30名 (内女性14名) 実数 11名 (内女性 5名) 5. 沼津地域中小企業支援センター(ワンストップ相談窓口) 延べ相談者数 373名 (内女性193名) 実数 222名 (内女性109名) 女性 377名 女性157名 6. NPO法人Woman'sサポートの女性起業家育成プログラムとして伴走支援を受けた2名の起業家の発表会を開催 商工会議所100周年記念行事で女性講演会とともに起業家発表会を開催した。来場者数 約220名(うち女性80%) ・ターゲット別セミナーの開催及び専門コーディネーターを配置する沼津地域中小企業支援センターを通じ起業支援を行った。 ・沼津市創業支援ネットワーク(ぬまづビジネスサポート連絡会)を通じた各支援機関の起業支援の状況 令和6年度 起業者数80名、内女性起業は31名(起業者のうち女性の割合 38.8%)
	・自分らしい生活を求め、起業という選択肢を広げていくため、女性に特化した、女性目線でのセミナー等を開催している。 ・各セミナーや相談窓口には多くの女性が参加していることから、潜在的な起業の機運は高まり、女性の起業割合は増加傾向である。 ・事業化に際し、融資や補助金を希望する方も徐々に増えつつあり、事業計画書や資金計画書作成、税務知識など、専門的かつ実務的な伴走支援を行うため、セミナーの内容を工夫することや伴走者のネットワークを構築していかたい。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	女性の起業意欲醸成	85人／年度	93人	セミナー等への女性参加者数／年度
	成果指標	女性の起業件数	30.0%	35%	女性の創業者数／総創業者数
4年度	活動指標	女性の起業意欲醸成	90人／年度	99人	セミナー等への女性参加者数／年度
	成果指標	女性の起業件数	35.0%	37%	女性の創業者数／総創業者数
5年度	活動指標	女性の起業意欲醸成	95人／年度	171人	セミナー等への女性参加者数／年度
	成果指標	女性の起業件数	40.0%	35%	女性の創業者数／総創業者数
6年度	活動指標	女性の起業意欲醸成	100人／年度	157人	セミナー等への女性参加者数／年度
	成果指標	女性の起業件数	45.0%	38.8%	女性の創業者数／総創業者数
7年度	活動指標	女性の起業意欲醸成	100人／年度		セミナー等への女性参加者数／年度
	成果指標	女性の起業件数	50.0%		女性の創業者数／総創業者数

5 連携が必要な機関

1	ぬまづビジネスサポート連絡会	事業所
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	セミナーや相談会のオンライン開催の検討

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	商工振興課
担当者(電話)	杉森(2583)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容					
IV V	7 V	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進					合同就職面接会の開催など、沼津しごと応援事業の推進により、女性の積極的登用の機会を創出するとともに、女性の再就職の支援や離職後の就業支援を推進する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	B	A	A	B	

SDGsのゴール				
1	5	8	9	17

1 事業の目的

企業における政策・方針決定過程における女性の参画拡大を促進し、多様な意見を反映させて、経済活動や市民生活などにおいて活力を高めつつ、持続可能な社会を築いていくことが重要である。
そのため、女性活躍の機会を拡大する取り組みを行い、就労の場における女性のリーダーシップや意思決定への参画拡大に努める。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

企業における女性役員の割合は従業員10人以上の規模で20.1%、30人以上の規模で13.6%となっており、政策・方針決定過程における女性の参画はまだ少ないと考えられる。これは正社員・正職員における女性の比率が約25%と少ないことが一つの要因であると考えられる。
そのため、女性の正規雇用の機会を創出することで、企業における女性のリーダーシップや意思決定への参画拡大に努める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>【合同就職面接会(ぬまjobフェア)開催】 沼津市内企業に就職を希望する求職者を対象に合同就職面接会を開催した。 第1回: 参加者110人(うち女性45人)、就職人数1人(うち女性0人) 第2回: 参加者135人(うち女性54人)、就職人数5人(うち女性0人)</p> <p>【キャリアデザイン相談センター開設】 キャリアコンサルタント有資格者等就職支援の経験豊富な支援員による相談者の状況に応じた就職相談、就職後のアフターフォロー対応による早期離職防止、静岡県が設置する静岡H・Iターン就職サポートセンター・ハローワーク等、関係機関との連携による支援を求職者の伴走型支援として実施した。 相談者: 延べ133人(うち女性48人)、就職人数5人(うち女性5人)</p>
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標である「合同就職面接会への参加者数」はこれまで、目標値を下回っていいたが、はじめて、目標値をクリアした。 引き続き、周知に努め、求職希望者のマッチング支援を推進していく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 合同就職面接会への参加者数	200人	67人	合同就職面接会参加者	沼津しごと応援サイト運営 合同就職面接会(2回開催) キャリアデザイン相談センター開設 テレワークセミナー(4回開催) 奨学金返還支援事業
	成果指標 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	延べ100人	25人		
4年度	活動指標 合同就職面接会への参加者数	200人	111人	合同就職面接会参加者	沼津しごと応援サイト運営 合同就職面接会(2回開催) キャリアデザイン相談センター開設 女性向け座談会・面接会 ダイバーシティ経営セミナー テレワーク導入セミナー 奨学金返還支援事業
	成果指標 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	延べ100人	20人		
5年度	活動指標 合同就職面接会への参加者数	200人	195	合同就職面接会参加者	沼津しごと応援サイト運営 合同就職面接会(2回開催) キャリアデザイン相談センター開設 多様な働き方セミナー&多様な働き方面接会 奨学金返還支援事業
	成果指標 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	延べ100人	21		
6年度	活動指標 合同就職面接会への参加者数	200人	245	合同就職面接会参加者	沼津しごと応援サイト運営 合同就職面接会(2回開催) キャリアデザイン相談センター開設 多様な働き方推進セミナー デジタル人材育成プログラム 奨学金返還支援事業
	成果指標 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	延べ100人	16		
7年度	活動指標 合同就職面接会への参加者数	200人		合同就職面接会参加者	沼津しごと応援サイト運営 合同就職面接会(2回開催) キャリアデザイン相談センター開設 ワークライフバランスセミナー&ミニ面接会 奨学金返還支援事業
	成果指標 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	延べ100人			

5 連携が必要な機関

1	静岡労働局	国・県
2	静岡県	国・県
3	沼津商工会議所	事業所
4	沼津市商工会	事業所

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	合同就職面接会等の開催について、「沼津市におけるイベント等実施ガイドライン」に基づき、感染拡大防止対策を行う。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	農林農地課
担当者(電話)	岩田(2525)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
III	5	13	女性の社会的活躍を目指した意識向上・能力発揮のための支援				女性農業者等の地域農業に対する考え方を農業施策に反映する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	C	B	A	A		2 5 8 15
実績	C	B	A	A		

1 事業の目的

地域農業に係る方針等に女性農業者の声を反映し、女性が新規に就農しやすい風土を醸成する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

各種農林業関係団体の女性メンバーから意見や要望を積極的に聴取し、農業施策等に反映させる。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市茶業振興協議会において、茶業に携わる女性農業者と意見交換を行い、茶業振興のためのイベントを開催した。(沼津茶100杯サービスなどのイベントを実施) ・茶業振興のため、日本茶インストラクター沼津支部(28人中20人女性)と連携し、女性会員が主体となり計画した各種取り組みを実施した。(学校給食における地産地消の推進、お月見茶会、山カフェなど)
評価／改善点	<p>女性農業者等の意見を取り入れ、イベントの効果を高める改善が図れた。 既存の経営体における女性の農業への参画はあるものの、新規就農する女性が少ないとことから、増加に向けた取り組みを推進していく必要がある。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 農業関係団体女性メンバーとの意見交換会の実施	3回	0回	実施回数/年度	・JAなんすん女性部通常総代会、沼津市農業振興協議会実施、沼津市茶業振興協議会などで実施
	成果指標 女性新規就農者数	1人	1人	女性新規就農者数/年度	
4年度	活動指標 農業関係団体女性メンバーとの意見交換会の実施	3回	5回	実施回数/年度	・沼津市茶業振興協議会、日本茶インストラクター沼津支部において意見や要望を聴取した
	成果指標 女性新規就農者数	1人	0人	女性新規就農者数/年度	
5年度	活動指標 農業関係団体女性メンバーとの意見交換会の実施	3回	6回	実施回数/年度	・沼津市茶業振興協議会、日本茶インストラクター沼津支部において意見や要望を聴取した
	成果指標 女性新規就農者数	2人	0人	女性新規就農者数/年度	
6年度	活動指標 農業関係団体女性メンバーとの意見交換会の実施	4回	5回	実施回数/年度	・沼津市茶業振興協議会、日本茶インストラクター沼津支部において意見や要望を聴取した
	成果指標 女性新規就農者数	2人	0人	女性新規就農者数/年度	
7年度	活動指標 農業関係団体女性メンバーとの意見交換会の実施	5回		実施回数/年度	・JAふじ伊豆女性部通常総代会、沼津市農業振興協議会、沼津市茶業振興協議会などで実施
	成果指標 女性新規就農者数	3人		女性新規就農者数/年度	

5 連携が必要な機関

1	
2	
3	
4	

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	—
33			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	農林農地課
担当者(電話)	岩田(2525)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
IV V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現			農産物の地産地消を推進する農業者等を支援するとともに、すべての年代の男女を対象に地産地消を推進し定着化を図る。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール				
取組状況	C	A	A	A						
実績	C	B	A	A		2 5 8 15				

1 事業の目的

安全・安心な食生活実現のため、すべての年代の男女を対象に地産地消を推進し、定着化を図ることで、地域における継続的な農業生産活動の実施を目指す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

地産地消に関するイベント等を通じて生産者と消費者(家庭)を繋げる取り組みを継続的に実施し、定着化を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 沼津農林まつりや茶業振興に係るイベント等において、地場農産物の消費拡大に努めた。 学校給食において、お茶・ブチヴェール・玉ねぎ・大中寺芋等11品目の沼津産農産物を導入した。 食育体験ツアーや沼津茶検定等を実施し、地場農産物への理解を深めるとともに、地産地消を推進した。 高校生によるレシピコンテストを開催し、地産地消の推進と地場農産物のPRを図った。(ブチヴェール)
評価／改善点	<p>地産地消の推進や地場農産物の消費拡大に効果的なイベントが実施できた。 今後も継続して実施し、地産地消の更なる推進及び地場農産物のPRを図り、農業者の生産意欲向上に繋げたい。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	地産地消イベント実施回数	6回/年度	0回	イベント実施回数/年度	地産地消イベントの実施 農林まつり、食育DAYキャンプ、食育ツアーLocalFoodMeeting、沼津港マルシェ×2
	成果指標	地産地消イベントにおける女性農業者等の出展率	35%	-	女性農業者等/全出展者	
4年度	活動指標	地産地消イベント実施回数	7回/年度	14回	イベント実施回数/年度	地産地消イベントの実施 第53回沼津農林まつり、茶業振興に係る各種イベント、食育ツアー、高校生レシピコンテスト(沼津産抹茶を使用したスイーツ)ほか
	成果指標	地産地消イベントにおける女性農業者等の出展率	35%	37%	女性農業者等/全出展者	
5年度	活動指標	地産地消イベント実施回数	8回/年度	16回	イベント実施回数/年度	地産地消イベントの実施 沼津農林水産まつり、Sea級グルメ全国大会出店、茶業振興に係る各種イベント、食育体験ツアー、高校生レシピコンテスト(沼津ねがた白ねぎ)ほか
	成果指標	地産地消イベントにおける女性農業者等の出展率	40%	63%	女性農業者等/全出展者	
6年度	活動指標	地産地消イベント実施回数	9回/年度	13回	イベント実施回数/年度	地産地消イベントの実施 沼津農林まつり、茶業振興に係る各種イベント、食育体験ツアー、高校生レシピコンテスト(ブチヴェール)ほか
	成果指標	地産地消イベントにおける女性農業者等の出展率	45%	65%	女性農業者等/全出展者	
7年度	活動指標	地産地消イベント実施回数	10回/年度		イベント実施回数/年度	地産地消イベントの実施 農林まつり、食育DAYキャンプ、食育ツアーほか
	成果指標	地産地消イベントにおける女性農業者等の出展率	50%		女性農業者等/全出展者	

5 連携が必要な機関

1	学校教育課	府内
2	健康づくり課	府内
3	産業戦略推進室	府内
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	—
34			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	農林農地課
担当者(電話)	岩田(2525)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
IV V	7	17	個人の能力が発揮できる雇用施策・労働環境整備の促進				魅力ある農業経営を実現するために、家族間の就業条件や経営の役割分担などの取り決めを行う家族経営協定締結の促進を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	C	A	A	A		
実績	C	B	B	B		2 15

1 事業の目的

農業経営を経営主だけでなく、配偶者や後継者にとっても、魅力的でやり甲斐のあるものにするために、家族全員が主体的に経営に参画でき、意欲と能力を存分に発揮できる環境を整備する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

農業就業人口の過半を占める女性の農業労働・家事労働を適正に評価するとともに、計画的な休日取得等を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	認定農業者に対する認定の際に、家族で農業を営んでいる経営体に対して、経営主だけでなく、配偶者も経営に参画できるよう、家族経営協定の締結を促した。
評価／改善点	国の第5次男女共同参画基本計画の中でも、家族経営協定の締結件数の増大を目標としている。また、市内の認定農業者113経営体に対して、家族経営協定を締結しているのは11件と、全体に占める割合が低いため、今後も積極的に推進していく必要がある。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	家族経営協定説明会の実施	1回	1回	説明会実施回数/年度	農家訪問の際などに隨時説明を行った。
	成果指標	家族経営協定の締結数	1件	1件	締結数/年度	
4年度	活動指標	家族経営協定説明会の実施	1回	1回	説明会実施回数/年度	農家訪問の際などに随时説明を行った。
	成果指標	家族経営協定の締結数	1件	3件	締結数/年度	
5年度	活動指標	家族経営協定説明会の実施	2回	2回	説明会実施回数/年度	農家訪問の際などに随时説明を行った。
	成果指標	家族経営協定の締結数	2件	2件	締結数/年度	
6年度	活動指標	家族経営協定説明会の実施	2回	2回	説明会実施回数/年度	農家訪問の際などに随时説明を行った。
	成果指標	家族経営協定の締結数	2件	0件	締結数/年度	
7年度	活動指標	家族経営協定説明会の実施	3回		説明会実施回数/年度	農家訪問の際などに随时説明を行う。
	成果指標	家族経営協定の締結数	3件		締結数/年度	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	—
35			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	水産海浜課
担当者(電話)	伊藤(2532)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
I II	1 4	男女共同参画推進のための情報発信・情報提供				漁協の女性職員等に対し、水産業における男女共同参画に関する情報提供を行う。 また、市民(特に若い世代)に対し、水産業における女性活躍事例を伝える。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	8		

1 事業の目的

漁協の女性職員等に対し、水産業における男女共同参画に関する情報提供を行い、意識高揚を図る。
また、市民(特に若い世代)に対し、水産業における女性活躍事例を伝えることで、男女共同参画推進に寄与する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

漁業は、男性中心の、家族経営が多い現状の中で、漁協の女性職員等へ男女共同参画に関する情報提供を行い、啓蒙することより、女性のエンパワーメントを引き出し、漁業減退の抑止力のひとつとしていく。また、市民(特に若い世代)に対し、水産業における女性活躍事例を伝えることで、意識啓発を行うことにより、男女共同参画を推進していく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	【漁協の女性職員等が主体的に取り組む活動を支援する。】 ・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような事例について、情報提供した。
評価／改善点	・現在、婦人部を組織する漁協はない状態にある。婦人部を組織することは困難でも、各漁協の女性職員が活躍することにより、水産業界における男女共同参画を推進していくことは可能である。婦人部の組織にとらわれず、水産業界の女性の活躍のため、積極的に情報提供を行っていった。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	情報提供	2回/年度	1回/年度	実施回数	・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような、実践的・積極的な団体等の情報収集をし、漁協の女性職員等に情報提供を行った。
	成果指標	沼津市の漁協組合員における女性の割合	3.2%	3.58%	女性組合員数/組合員数	・コロナ禍により、各種講演会や視察が中止となった。
4年度	活動指標	情報提供	2回/年度	1回/年度	実施回数	・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような、実践的・積極的な団体等の情報収集及び情報提供を行った。
	成果指標	沼津市の漁協組合員における女性の割合	3.2%	3.73%	女性組合員数/組合員数	・女性が働きやすい職場環境の整備や、情報発信支援を強化していく。
5年度	活動指標	情報提供	2回/年度	1回/年度	実施回数	・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような、実践的・積極的な団体等の情報収集及び情報提供を行う。
	成果指標	沼津市の漁協組合員における女性の割合	3.2%	3.82%	女性組合員数/組合員数	・女性が働きやすい職場環境の整備や、情報発信支援を強化していく。
6年度	活動指標	情報提供	2回/年度	1回/年度	実施回数	・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような、実践的・積極的な団体等の情報収集及び情報提供を行う。
	成果指標	沼津市の漁協組合員における女性の割合	3.2%	4.16%	女性組合員数/組合員数	・女性が働きやすい職場環境の整備や、情報発信支援を強化していく。
7年度	活動指標	情報提供	2回/年度		実施回数	・漁村において女性が活躍している、もしくはできるような、実践的・積極的な団体等の情報収集及び情報提供を行う。
	成果指標	沼津市の漁協組合員における女性の割合	3.2%		女性組合員数/組合員数	・女性が働きやすい職場環境の整備や、情報発信支援を強化していく。

5 連携が必要な機関

1	広報課	府内
2	財政課	府内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	水産海浜課
担当者(電話)	伊藤(2532)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
III	5	13	女性の社会的活躍を目指した意識向上・能力発揮のための支援				女性漁業関係者が主体的に取り組む水産関連施設に係るPR支援や催事等における魚食普及活動の支援を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	B	B	B	B		3 5 8
実績	B	B	B	B		

1 事業の目的

女性を主体とする運営管理がなされている内浦漁協直営食堂「いけすや」のPR支援や、女性漁業関係者が主体的に取り組む催事等における魚食普及活動への支援により、地域における女性の活躍を応援するとともに、水産業界における女性の参画を促進する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

水産関連施設に係るPR支援等を通して女性の活躍を促す。また、漁村における魚食文化を広める活動への支援により、知識の継承を促し女性の能力発揮を応援する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>【その他(魚食普及活動の支援)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性が主体として行う、戸田漁協による水産物の移動販売(海から遠い地域における販売/月一回)の実施を支援した。 深海魚の地産地消推進事業において、戸田地区の元地域おこし協力隊の女性と協力し、その女性が主体として実施している戸田深海魚直送便(漁業者支援事業)の情報発信を支援した。
評価/改善点	<ul style="list-style-type: none"> 戸田漁協の移動販売を継続実施できており、女性の活躍の場の提供に貢献できた。 戸田深海魚直送便は各種メディアに取り上げられるなど、本市漁業振興における女性活躍のPRとなった。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 活動への補助金交付	2回/年度	1回/年度	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 「内浦漁港祭」「いけすや市」はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。 戸田の移動販売支援、深海魚の地産地消推進イベント等を実施。 深海魚直送便の情報発信の支援。
	成果指標 沼津市の漁協組合員における女性の割合	4.3%	3.58%		
4年度	活動指標 活動への補助金交付	2回/年度	1回/年度	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 「内浦漁港祭」はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。 4漁協の販路拡大販売事業支援、深海魚の地産地消推進イベント等を実施。 深海魚直送便の情報発信の支援。
	成果指標 沼津市の漁協組合員における女性の割合	4.6%	3.73%		
5年度	活動指標 活動への補助金交付	2回/年度	1回/年度	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 戸田漁協による水産物の移動販売等において、女性が主体として行う魚食普及活動に補助金を交付。 「いけすや市」について広報ぬまづに掲載したり、チラシを各所に配架するなど、広報PRに協力する。
	成果指標 沼津市の漁協組合員における女性の割合	4.9%	3.82%		
6年度	活動指標 活動への補助金交付	2回/年度	1回/年度	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 戸田漁協による水産物の移動販売等において、女性が主体として行う魚食普及活動に補助金を交付。 「いけすや市」について広報ぬまづに掲載したり、チラシを各所に配架するなど、広報PRに協力する。
	成果指標 沼津市の漁協組合員における女性の割合	5.2%	4.16%		
7年度	活動指標 活動への補助金交付	2回/年度		実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 戸田漁協による水産物の移動販売等において、女性が主体として行う魚食普及活動に補助金を交付。 「いけすや市」について広報ぬまづに掲載したり、チラシを各所に配架するなど、広報PRに協力する。
	成果指標 沼津市の漁協組合員における女性の割合	5.2%			

5 連携が必要な機関

1	生涯学習課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	
37			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	ウィズスポーツ課
担当者(電話)	三井 賢一(2839)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	3	7	生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりへの支援					身体的差異などの性差に配慮し、市民の健康づくり・体力づくり活動のための各種スポーツ教室などを開催する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	A	A	
実績	A	A	B	B	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

各種教室等を開催することで、運動に親しむ機会を提供し、市民一人ひとりの健康増進、体力の向上を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女の性差や、身体の特徴を考慮し、それぞれの嗜好や体力に応じたカリキュラムを組み込む。
また、市民が健康体力づくりをはじめるきっかけづくりになるように、参加しやすい単発的な短期講座などを開催する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初、43教室を計画していたが、第1期を開催したところ6教室が抽選となったため、第2期より2教室増設し45教室での実施とした。これにより教室数(43→45)、参加者数(21,813→24,516)ともに増加した。 なお、男性の参加比率はR5:10.9%→R6:9.4%と1.5ポイント減少しているが、男性参加者総数はR5:2,371人→R6:2,309人と微減であり「教室への参加」に対する男女の嗜好の差が表れていると考える。 短期講座は、55講座に男性58人、女性1,026人の参加をいただいた。 また、指導者は、沼津市スポーツ指導者バンク登録指導者47名にお願いしたが、男性は8名、女性は39名であった。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 申込者が抽選により参加できない状況を緩和するため、2教室を増設した。 短期講座の参加率は、96.1%と高かったものの、男女比は5.4%:94.6%と、地域体力づくり教室同様嗜好の差が表れている。 健康づくり課との連携により、8教室で健康度測定を実施し、参加者の運動意欲を高めた。

4

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	地域体力づくり教室の開催	26教室 17,000人	27教室 11,917人	教室数 参加者数	地域体力づくり教室 15地区 27教室
	成果指標	地域体力づくり教室の男女の参加率	9.3%	10.5%	男性の参加率	
4年度	活動指標	地域体力づくり教室の開催	27教室 17,475人	28教室 15,282人	教室数 参加者数	地域体力づくり教室 16地区 28教室
	成果指標	地域体力づくり教室の男女の参加率	10.1%	10.3%	男性の参加率	
5年度	活動指標	地域体力づくり教室の開催	28教室 17,950人	43教室 21,813人	教室数 参加者数	地域体力づくり教室 16地区 43教室
	成果指標	地域体力づくり教室の男女の参加率	10.9%	10.9%	男性の参加率	
6年度	活動指標	地域体力づくり教室の開催	29教室 18,425人	45教室 24,516人	教室数 参加者数	地域体力づくり教室 16地区 45教室
	成果指標	地域体力づくり教室の男女の参加率	11.7%	9.4%	男性の参加率	
7年度	活動指標	地域体力づくり教室の開催	29教室 18,900人		教室数 参加者数	地域体力づくり教室 16地区 45教室
	成果指標	地域体力づくり教室の男女の参加率	12.5%		男性の参加率	

5 連携が必要な機関

1	健康づくり課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	まちづくり政策課
担当者(電話)	鈴木(2575)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
Ⅲ	5	12	地域社会における女性の参画拡大			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
9	11	17		

1 事業の目的

人口減少、少子高齢化が急速に進展する本市のまちなかにあって、女性や子育て世代の市民が、将来像を自ら描き、また自ら行動し、豊かな住環境を創出することを目的とする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

一定のスキルを持つつ、結婚を機に家庭に入った女性は本市にとつてかけがえのない資産であり、このような女性が自らのスキルを発揮しつつ、感性豊かに子供をはぐくみ、楽しみながら子育てをし、自らのライフスタイルを実現できるまちなかの実現を主旨として事業を実施する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 沼津を拠点に活躍する人や沼津を盛り上げる活動をしている人など、自分のスキルを活かして自らの将来像を描いて活動をしている人をスピーカーとして招き、その活動内容を紹介していただくとともに、ジャンル・世代・性別を問わず様々な人が交流できる場とする「LINK NUMAZU」を2回開催した。LINK NUMAZUへの参加者は延べ45人(1回目22人:男13人・女9人、2回目23人:男12人・女11人) まちなか居住者のライフスタイルを紹介することで、まちなかに住むことの憧れや興味を持つ人を増やすために「NUMAZU BASIC」という冊子を1冊発行した。 	
評価／改善点	概ね計画通りの取り組みができたものの、中心市街地の居住者数が1年間で232人減少(R5.3末 20,734人→R6.3末 20,502人)してしまった。前年度(R4→R5)が237人減少だったので、減少幅は小さくなつたが、依然減少傾向にあることに変わりない。引き続き、目標値である21,000人以上となるよう、取り組みを実施するとともに、他課や他事業との連携を進めたい。	

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	まちなか居住の魅力発信数	2件	3件	まちなか居住の魅力を発信した件数	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流の場として「LINK NUMAZU」というイベントを1回開催した。
	成果指標	中心市街地の居住者数	21,000人以上	20,971人	住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数	<ul style="list-style-type: none"> まちなか居住者のライフスタイルを紹介する「NUMAZU BASIC」という冊子を3冊発行した。
4年度	活動指標	まちなか居住の魅力発信数	2件	2件	まちなか居住の魅力を発信した件数	<ul style="list-style-type: none"> 「LINK NUMAZU」を3回開催した。
	成果指標	中心市街地の居住者数	21,000人以上	20,734人	住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数	<ul style="list-style-type: none"> 「NUMAZU BASIC」を1冊発行した。 「for now」プロジェクトのリーフレットを1冊発行した。
5年度	活動指標	まちなか居住の魅力発信数	2件	2件	まちなか居住の魅力を発信した件数	<ul style="list-style-type: none"> 「LINK NUMAZU」を3回開催した。
	成果指標	中心市街地の居住者数	21,000人以上	20,502人	住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数	<ul style="list-style-type: none"> 「NUMAZU BASIC」を1冊発行した。 「添地プチマルシェ」を1回開催した。
6年度	活動指標	まちなか居住の魅力発信数	2件	2件	まちなか居住の魅力を発信した件数	<ul style="list-style-type: none"> 「LINK NUMAZU」を2回開催した。
	成果指標	中心市街地の居住者数	21,000人以上	20,366人	住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数	<ul style="list-style-type: none"> 「NUMAZU BASIC」を1冊発行した。 お試してまちなかに居住する施策である、シェアハウス「ホトリノ」の居住トライアルの参加者募集を実施した。
7年度	活動指標	まちなか居住の魅力発信数	2件		まちなか居住の魅力を発信した件数	<ul style="list-style-type: none"> まちなかで自らのスキルを発揮し活躍する女性や子育て世代を含めた多世代の交流の場を創る。
	成果指標	中心市街地の居住者数	21,000人以上		住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数	<ul style="list-style-type: none"> まちなか居住者の豊かなライフスタイルを情報発信する。

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	-
39			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	まちづくり政策課
担当者(電話)	山田(2574)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
IV V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現				男女共同参画による中心市街地のまちづくりを推進し、交流人口の増加、定住人口の確保、及び協働のまちづくりへの意識醸成を図るとともに、ヒト中心のまちづくりを展開する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
9	11	17		

1 事業の目的

男女共同参画による中心市街地のまちづくりを推進し、交流人口の増加、定住人口の確保と協働のまちづくりへの意識醸成を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

中心市街地のまちづくりに子育て世代の女性をはじめとする新しい層の視点を取り入れることで、地域社会での男女共同参画意識の醸成や地域活動や市民活動への積極的な参画を促す。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<社会実験「OPENNUMAZU」の実施> 中心市街地まちづくり戦略の進捗を図る上で必要な、効果検証サイクルの一つである社会実験「OPENNUMAZU」を、11月から2月にかけさんさん通り、仲見世商店街を中心としたエリアにおいて実施した。駅前に拠点を作り、商店街へつながる地下道でのテープアートや、商店街に休憩できる場所等を設けることで、居心地の良い公共空間の創出を図り、男女ともに多くの参加者が集まった。(アンケート第1弾101件中約54%、第2弾138件中約43%、同事業のインスタグラム・フォロワー数2,447人中約61%が女性であった。)
評価／改善点	男女ともにバランスよく取組に参加してもらうことができたため、アンケート等により、女性からの意見・提案を収集することができた。なお、インスタグラム・フォロワー数では女性の割合が高いことから、SNSを積極的に活用して、いただいた意見・提案を反映させながら取組を展開していく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	市民への周知	2回	2回	ワークショップ、シンポジウム、社会実験の回数	・中心市街地まちづくり戦略会議2回開催(9月・12月) ・ワーキンググループ5回開催(8月2回、10月、11月2回) ・デザイン会議2回開催
	成果指標	中心市街地歩行者数	50,000人	42,073人	中心市街地14地点の歩行者通行量	
4年度	活動指標	市民への周知	4回	4回	ワークショップ、シンポジウム、社会実験の回数	・中心市街地まちづくり戦略会議3回開催(4月、10月、3月) ・ワーキンググループ5回開催(6月、10月、11月、2月、3月) ・デザイン会議2回開催 ・社会実験2回実施(沼津駅南口、商店街等)
	成果指標	中心市街地歩行者数	50,000人	45,707人	中心市街地14地点の歩行者通行量	
5年度	活動指標	市民への周知	4回	6回	ワークショップ、シンポジウム、社会実験の回数	・(都)三枚橋錦町線 パークレットの設置(10月～) ・中心市街地まちづくり戦略会議2回開催(8月、3月) ・ワーキンググループ2回開催(7月、11月) ・空間活用に向けた社会実験6回開催 ・デザイン会議2回開催
	成果指標	中心市街地歩行者数	50,000人	51,858人	中心市街地14地点の歩行者通行量	
6年度	活動指標	市民への周知	4回	4回	ワークショップ、シンポジウム、社会実験の回数	・中心市街地まちづくり戦略会議1回開催(7月) ・ワーキンググループ開催(未開催) ・空間活用の企画実施(2回開催) ・デザイン会議開催1回開催
	成果指標	中心市街地歩行者数	50,000人	58,941人	中心市街地14地点の歩行者通行量	
7年度	活動指標	市民への周知	4回		ワークショップ、シンポジウム、社会実験の回数	・中心市街地まちづくり戦略会議開催 ・ワーキンググループ開催 ・デザイン会議開催
	成果指標	中心市街地歩行者数	50,000人		中心市街地14地点の歩行者通行量	

5 連携が必要な機関

1	広報課	庁内
2	関係各課	庁内
3	市民・関係団体	
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	社会実験の実施などについては、新型コロナのまん延状況により時期や場所などが変更となる可能性があるほか、ワークショップなどの開催については、WEB開催となる可能性がある。
40			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	緑地公園課
担当者(電話)	渡邊和之(2598)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
IV V	9	23	男女共同参画社会に向けた地域環境整備				様々な世代の地域住民や民間事業者からの意見を参考に公園の利活用や整備を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	10	11		

1 事業の目的

子どもから高齢者まで誰もが使いやすい公園の整備や利活用を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

様々な世代からの要望による公園の利活用、また地域住民や民間事業者との協議に基づく公園整備を図り、性別に関係なく市民参画による公園づくりに取り組む。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市パークマネジメントプラン(H30.4策定)に基づき、市と地元自治会でパークマネジメント協定を締結し、地域住民の意向を尊重した公園の維持・運営管理を行った。(継続3公園・協議2公園) ・中央公園の再整備に向け、前年度から継続して、再整備後のイメージがわかりやすいように、仮設で人工芝等を設置し、利用状況を確認している。また、トライアル等により得られた意見等を、詳細設計へ反映した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・パークマネジメントプランを策定し、公園の維持・運営管理等について展開方針を定め、継続3公園の協定締結、2公園の協議を行った。より利用しやすく使いやすい公園になるように、協議を行っていく。 ・中央公園の再整備について、利用実証トライアルにより、多くの方に関心を持ってもらえた。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	地域住民や民間事業者等との協議	3回／年度	8回 (4自治会)	3回／年度 ※3回/年×4自治会	・パークマネジメント協定締結自治会および締結予定自治会との協議(豊町、門池連合、我入道連合、原町中) ・中央公園再整備に向けた民間事業者等との協議
	成果指標	地域住民や民間事業者等と連携した公園整備	1か所／年度	1か所	1か所／年度	
4年度	活動指標	地域住民や民間事業者等との協議	3回／年度	6回	3回／年度 ※3回/年×4自治会	・パークマネジメント協定締結自治会および締結予定自治会との協議(豊町、門池連合、高沢町、花園町) ・中央公園再整備に向け、市民・利用者・民間事業者等を交えたワークショップ等の実施
	成果指標	地域住民や民間事業者等と連携した公園整備	1か所／年度	1か所	1か所／年度	
5年度	活動指標	地域住民や民間事業者等との協議	3回／年度	10回	3回／年度 ※3回/年×4自治会	・パークマネジメント協定締結自治会および締結予定自治会との協議(豊町、門池コミュニティ、花園町) ・民間事業者サウンディング調査(中央公園) ・利用実証トライアル(中央公園)
	成果指標	地域住民や民間事業者等と連携した公園整備	1か所／年度	1か所	1か所／年度	
6年度	活動指標	地域住民や民間事業者等との協議	3回／年度	9回	3回／年度 ※3回/年×4自治会	・パークマネジメント協定締結自治会および締結自治会との協議(豊町、門池連合、花園町) ・パークマネジメント締結予定自治会協議(今沢中央、原町中) ・利用実証トライアル・継続・詳細設計(中央公園)
	成果指標	地域住民や民間事業者等と連携した公園整備	1か所／年度	1か所	1か所／年度	
7年度	活動指標	地域住民や民間事業者等との協議	3回／年度		3回／年度 ※3回/年×4自治会	・パークマネジメント協定締結自治会および締結予定自治会との協議(豊町、門池連合、我入道連合、原町中) ・公園供用開始・PR(中央公園) ・工事着工・完成(島郷公園)
	成果指標	地域住民や民間事業者等と連携した公園整備	1か所／年度		1か所／年度	

5 連携が必要な機関

1	関係各課	府内
2	地域住民・公園利用者	自治会
3	民間事業者	
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	公園は、誰でも利用できる場所であるため、コロナ感染症のような状況の場合、国の指導等を鑑み、安全対策を講じる必要がある。
4			